

2010 Year's Report

平成22年度 事業報告書

財団法人大阪府男女共同参画推進財団

目 次

はじめに	平成22年度の取り組み	1
§ 1	財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要	3
§ 2	財団の運営	5
1	理事会の開催	
2	ラウンドテーブルの開催	
3	プロジェクト2010	
4	他機関との連携	
5	職員研修の実施	
§ 3	広報・PR	8
1	広報事業	
2	賛助会・サポーター制度運営	
3	視察の受入れ	
§ 4	事業概要	
1	大阪府男女共同参画推進事業	11
1	女性に関する情報の収集及び提供に関する事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2	女性の抱える問題に関する相談事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
3	男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2	女性のキャリア形成支援事業（女性の能力開発・ネットワーク事業）	27
1	働く女性の仕事塾「はなみずきキャリア塾Ⅱ」	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業】
2	はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト	【米国大使館助成事業】
3	はなみずきキャリア塾：特別編	【はなみずき基金事業】
3	経済的に困難な女性のための就労支援事業（女性の能力開発・ネットワーク事業）	33
1	母子家庭のお母さん等を対象とした職業訓練	【独立行政法人雇用・能力開発機構受託事業】
2	働きづらさに悩む若い女性のためのパソコン講座事業	【マイクロソフト株式会社助成事業】
4	女性に対する暴力対策等人材養成支援事業	35
1	若年層を対象とした交際相手からの暴力予防啓発指導者研修	【内閣府受託事業】
2	配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナー	【独立行政法人国立女性教育会館（NWEC）共催事業】
3	2010フェミニストカウンセリング専門講座	【賛助会費充当事業】
4	スーパービジョン講座	【自主事業】
5	ファシリテーション・スキル講座	【自主事業】
5	文化表現事業	42
1	映像フェスティバル「ファッションと女性」	【「国際ソロプチミスト大阪一東」共催事業】
2	ドーン・シネマクラブ	【はなみずき基金事業】
3	第16回女性芸術劇場	【財団法人地域創造助成事業】
6	調査研究事業	47
1	「ウイメン・パイオニアズ」プロジェクト	【自主事業】

7 国際協力事業	49
1 アフガニスタン国「女性の貧困削減プロジェクト」に係る国別研修	【独立行政法人国際協力機構（JICA）受託事業】
8 女性の健康支援事業	52
1 不妊専門相談センター事業	【大阪府（健康医療部）受託事業】
9 次世代育成事業	56
1 夏期インターンシップ・プログラム	【自主事業】
2 研修・実習・職場体験等の受入れ	【自主事業】
10 販売事業	59
1 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	【自主事業】
2 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	【自主事業】
11 講師派遣・アウトリーチ	60
1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	【自主事業】
12 NPO・市民活動支援事業	64
1 共催事業・後援事業	【自主事業】
2 ポスタープリントサービス	【自主事業】
13 配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業	67
1 配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業	【内閣府受託事業】
14 ドーンセンター指定管理事業	70
1 ドーンセンターの概要	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2 ドーン利用促進事業共同体の概要	【大阪府（府民文化部）受託事業】
3 指定管理業務	【大阪府（府民文化部）受託事業】
4 一時保育事業	【自主事業】
§ 5 平成22年度 事業実施一覧	81
§ 6 平成22年度 決算	83
1 財源構成	
2 事業活動支出の内訳	
3 収支計算書	
4 貸借対応表	
§ 7 メディア掲載一覧	85
参考資料	87
1 財団法人大阪府男女共同参画推進財団設立趣意書	
2 財団法人大阪府男女共同参画推進財団寄附行為	
3 財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ	

はじめに 平成22年度の取り組み

1 「自立化」元年

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は、男女共同参画社会の実現という「21世紀我が国社会の最重要課題」（男女共同参画社会基本法前文）を目的に掲げ、多くの府民、団体の声を反映して平成6年4月、大阪府の全額出資によって設立され、ドーンセンターの運営によって高く評価されてきました。

しかし、平成20年7月の大阪府財政再建プログラム（案）によって打ち出された「平成22年度からの財団自立化」という経営環境の激変に伴い、組織運営に抜本的な見直しを迫られました。

こうした状況を踏まえ、「第一次自立化プラン」（2009.3 策定）、「第二次自立化プラン」（2010.3 策定）をまとめ、平成22年4月1日、「財団自立化」がスタートしました。

「第二次自立化プラン」に定めた運営の方向
「事業エリアの拡大」 自立化を契機に収益性の高い事業獲得の機会を増やすため、大阪府域のほか一部の近隣府県でも事業を展開します。
「社会に欠かせない新法人に変革」 財団設立以来の活動実績を基盤にしつつ、コスト管理を徹底させる効率的運営によって府民や男女共同参画に関わる団体、企業、学校、自治体にとって不可欠な法人への変革をめざします。
「運営自己評価の実施」 財団のガバナンス確保、自律機能の充実、事業の効果的・効率的実施、対外アピールなどの観点から運営全般の自己評価を実施し、ホームページで公表します。
「情報発信と開かれた運営」 ネットやマスコミ、機関紙などを通して財団に関する情報を府民に提供して外部意見、要望をくみあげ、財団への理解と支援の輪を広げていきます。

2 事業の維持と財源確保に向けた取り組み

平成20年度以降、大阪府からの事業補助金が全額廃止されましたが、多様な資金源の確保に取り組み、質・量ともに事業を維持しています（表1）。

表1 「大阪府事業補助金により実施してきた事業」の今年度の資金源

事業名	資金源
●女性の能力開発・ネットワーク事業	在日米商工会議所（ACCJ）関西支部／米国大使館／（独法）雇用・能力開発機構／マイクロソフト株式会社／はなみずき基金
●女性に対する暴力対策等人材養成支援事業	内閣府／賛助会費
●文化表現事業	国際ソロプチミスト大阪-東／（財）地域創造／はなみずき基金
●調査研究事業	内閣府／賛助会費
●国際交流事業	（独法）国際協力機構

3 ドーンセンターにおける「大阪府男女共同参画推進事業」について

ドーンセンター情報ライブラリーの運営、サポート・カウンセリングルームでの電話・面接相談の実施、啓発講座などの大阪府男女共同参画推進事業については、昨年度、平成22～24年度の運営団体の公募が行われました。「情報」「相談」「啓発」各事業の連携と、それらに多様な自主事業をリンクさせ、ドーンセンターの機能を一層高める企画提案を行い、引き続き事業を運営しています。また、「女性の経済的・社会的エンパワメント」「次世代の育成」「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」を重点テーマに事業を企画しています。



4 東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理への応募

東大阪市立男女共同参画センターの指定管理に応募し、指定管理者として選定されました。平成23年度～平成25年度の3年間、ハード（施設管理）とソフト（事業企画・運営）を行います。

5 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）指定管理への応募

平成18年度に指定管理者制度が導入されて5年がたち、平成23年度以降の指定管理者の公募が行われました。当財団を含め4団体で共同体を結成し、これまでの実績をもとにさらなるサービス向上策を企画提案し、指定管理者として選定されました。平成23年度～平成27年度の5年間、ドーンセンターの施設管理を行います。

6 平成22年度の新たな取り組み

- 「はなみずきキャリア塾」ポッドキャストプロジェクト：「はなみずきキャリア塾」のエッセンスを当財団ホームページからダウンロードできるサービスをスタートし、多くの方々にアクセスいただきました。
- 働きづらさに悩む若い女性のためのパソコン講座：パソコンスキルの習得だけでなく、働き続ける上で必要な知識を提供する講座や、自尊感情を高めるワークなどを盛り込み、メンタル面のサポートにも力を入れました。
- 「交際相手からの暴力の予防啓発指導者のための研修」：内閣府が作成した、若年層に対するDVの予防啓発プログラムとその教材セットを用いた効果的な指導の方法等についての研修を、ドーンセンターで実施し、多くの方々に受講いただきました。
- 「配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業～パープルダイヤル～」：2月8日（火）～3月27日（日）に全国規模で実施された「パープルダイヤル—性暴力・DV電話相談—」事業を内閣府から受託しました。全国各地で相談を受ける相談員の研修や、事務局としての取りまとめ、また、事業の結果を今後の被害者支援に活かすための報告書作成を行いました。

§ 1 財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要

1 基本理念と目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的とする。

2 設立年月日 平成6（1994）年4月1日

3 基本財産 1億円

4 財団の事務所 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

5 主要事業

- (1) 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業
- (2) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (3) 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業
- (4) 女性の能力開発・ネットワーク事業
- (5) 女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- (6) 文化表現事業
- (7) 調査研究事業
- (8) 国際協力事業
- (9) 女性の健康支援事業
- (10) 次世代育成事業
- (11) 指定管理事業

6 役員

理事長	時岡禎一郎	ジャーナリスト・元大阪府理事
理事	尼川 洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース 代表
	上田理恵子	株式会社マザーネット 代表取締役社長
	金光 哲司	財団法人大阪府男女共同参画推進財団 事務局長
	川中 大輔	シチズンシップ共育企画 代表
	木下みゆき	財団法人大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター
	高田 昌代	神戸市看護大学 教授
	段林 和江	弁護士
	畑 律江	毎日新聞 学芸部編集委員
	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事
監事	田上時子	特定非営利活動法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長
	林 紀美代	公認会計士

※50音順、肩書は2010.4現在

7 アドバイザー

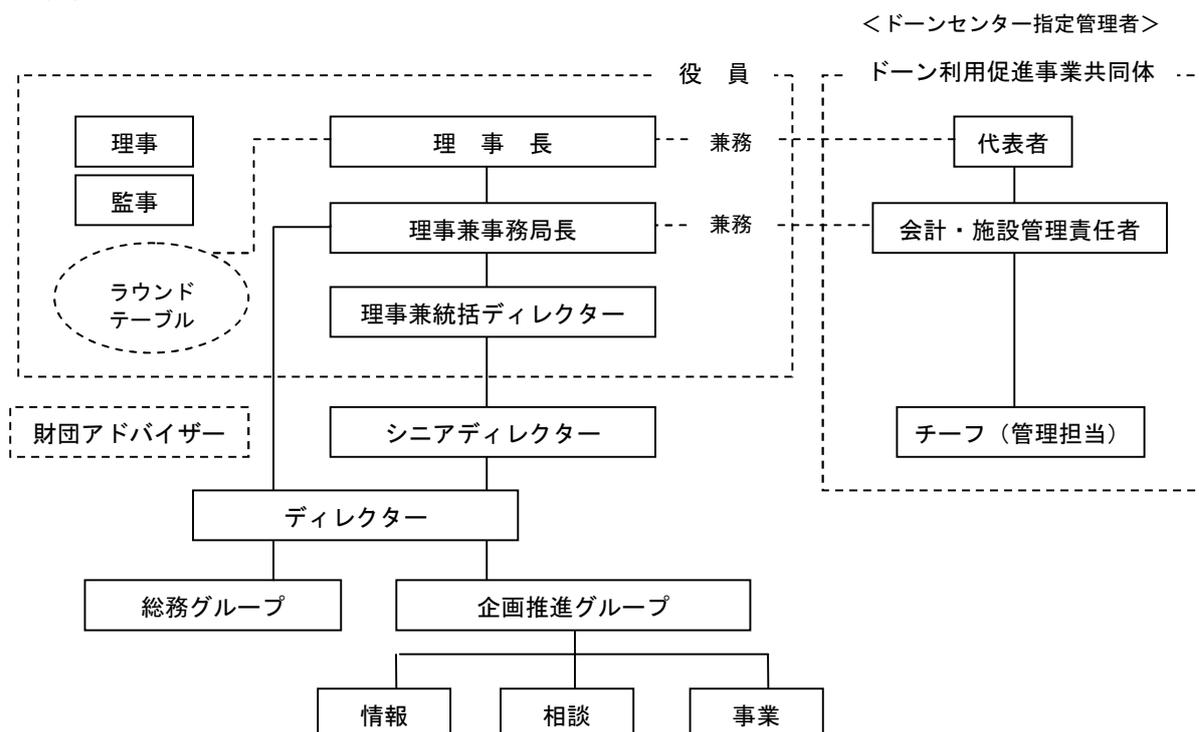
事業企画を行うにあたっての助言や、必要に応じて他機関とのコーディネートを担当するアドバイザーを委嘱した。(委嘱機関：2010年4月～2011年3月)

<アドバイザー一覧>

川喜田好恵 日本フェミニストカウンセラー協会代表理事・カウンセラー
 黒瀬友佳子 帝人クリエイティブスタッフ株式会社 人財部 ダイバーシティ推進室長
 本多 利子 臨床心理士
 宮本由起代 特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事、大阪心のサポートセンター代表
 ローラ・デールズ 大阪大学大学院人間科外国人招へい研究員、西オーストラリア大学アジア研究学部准教授

※50音順、肩書は2010.4

8 組織体制



9 職員数 常勤役員×2名、正規職員×4名（常勤役員2名含む）、期間雇用職員×1名
 契約職員×3名、非常勤職員×6名、派遣職員×2名、出向職員×2名

事務局長 金光 哲司（運営担当理事）
 統括ディレクター 木下みゆき（企画担当理事・情報担当）
 シニアディレクター 仁科あゆ美（企画・事業・相談担当）
 ディレクター 阿部 茜（総務・事業・相談担当）
 チーフ 小村 幹夫（管理担当）
 契約職員 扇田 敬裕（事業担当）、山名 玲子（事業担当）、近藤 裕子（相談担当）
 非常勤職員 平野 敬子（情報担当）、吉川真希子（情報担当）、伊勢 知恵（情報担当）
 堀 亜紀子（事業担当）、南方 哉英（事業担当）、伊藤 良子（相談担当）
 派遣職員 矢島 孝子（総務担当）、中野 有希（総務担当）
 出向職員 谷岡 久子（財団法人大阪産業振興機構）、中村 英子（大阪府立大学）

※2010.4現在

§ 2 財団の運営

1 理事会の開催

(1) 第57回理事会

開催日 平成22年6月18日(金) 10:00~12:00

- 議 題 ①平成21年度事業報告及び決算について
②平成22年度収支補正予算について
③平成21年度ドーン利用促進事業共同体事業報告及び決算について
④平成22年度ドーン利用促進事業共同体収支補正予算について

(2) 第58回理事会(臨時)

開催日 平成22年9月17日(金) 10:00~12:00

- 議 題 ①平成23年度以降の指定管理への対応について

(3) 第59回理事会(臨時)

開催日 平成23年1月14日(金) 10:00~11:15

- 議 題 ①内閣府「配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業」落札に伴う
平成22年度収支補正予算について

(4) 第60回理事会

開催日 平成23年2月16日(水) 14:00~15:10

- 議 題 ①特例民法法人から新法人形態への移行について
②法人移行に伴う評議員の選任方法(選定委員会の設置)について
③選定委員会の選定委員の選任について

(5) 第61回理事会

開催日 平成23年3月23日(水) 10:00~12:00

- 議 題 ①財団規程等の変更(新規作成)につちえ
②退職積立金の取崩しについて
③3月賞与の支給について
④財団平成22年度収支補正予算について
⑤平成23年度財団新規体制について
⑥財団平成23年度事業計画及び平成23年度収支予算について
⑦財団非常勤理事長及び常勤理事の報酬について

2 ラウンドテーブルの開催

財団の重要課題をめぐり財団役員と職員とが自由に意見交換し、財団の活性化につなげることを目的にラウンドテーブルを開催した。

(1) 第1回ラウンドテーブル

開催日 平成22年4月22日(木) 10:00~11:30

テーマ 資金獲得につながる事業のあり方 ~独立を維持し、活動を継続するために~

話題提供者 早瀬昇（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）

出席 理事4名、職員6名

(2) 第2回ラウンドテーブル

開催日 平成22年6月23日（木）10:00～12:00

テーマ 若者たちのボランティアを活かすコーディネート・スキル
～次世代育成のためのパートナーシップ形成～

話題提供者 川中大輔（シチズンシップ共育企画 代表）

出席 理事3名、職員7名

(3) 第3回ラウンドテーブル（番外編）

開催日 平成22年7月29日（木）17:00～19:00

テーマ 大阪府男女共同参画関連施策の検証・評価（3次評価）について意見交換

話題提供者 大阪府府民文化部男女共同参画・NPO課

出席 理事3名、職員6名

3 プロジェクト2010

(1) 東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者への応募

募集要項配布期間 平成22年9月15日（水）～9月30日（木）

説明会 平成22年10月1日（金）

申請期間 平成22年10月15日（金）～10月20日（水）

選考方法 書類審査、プレゼンテーション及び選定組織委員によるヒアリング

結果 指定管理者として決定

指定期間 平成23年4月1日～平成26年3月31日（3年間）

(2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）指定管理者への応募

募集要項配布期間 平成22年12月8日（水）～12月22日（水）

説明会 平成22年12月21日（火）

申請期間 平成23年1月25日（火）～1月31日（月）

選考方法 書類審査、プレゼンテーション

結果 指定管理者として決定

指定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

(3) 「配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業—パープルダイヤル—」事業受託者への応募

入札公告期間 平成22年12月21日～平成23年1月6日（木）

入札説明会 平成22年12月27日（月）

入札・改札 平成23年1月7日（金）

結果 事業受託者として決定

契約期間 平成23年1月7日～平成23年3月31日

4 他機関との連携

関係機関相互の情報交換・ネットワーク形成を図ることで、事業及び法人運営の充実を図った。

- (1) 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 団体会員
- (2) 大阪府内女性関連施設連絡協議会 会員
- (3) 社団法人大阪人材雇用開発人権センター 会員
- (4) 社団法人日本図書館協会 会員
- (5) 専門図書館関西地区協議会 会員
- (6) 大阪府外郭団体代表者懇話会 会員

5 職員研修の実施

- (1) 当財団が主催・共催する研修への参加

	研修名	参加者数
5月～6月	「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」	8名
5月～6月	「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」	2名
7月23日(金)	「配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナーin大阪」	3名
10月7日(木) ・8日(金)	「交際相手からの暴力の予防啓発指導者のための研修」	8名
11月18日(木)	「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」 女性のキャリアとは ～キャリア支援に有効な事業を実施するために～	3名

- (2) 人権研修

	研修名	
9月15日(水) ・16日(木)	女性に対する暴力(DV)に関するビデオ視聴	15名

- (3) 新任職員研修

	研修名	
11月9日(火)	男女共同参画の基礎知識	7名

- (4) 外部研修への派遣

	研修名	
9月17日(金)	女性と仕事の未来館「第2回全国相談担当者研修会IN関西」	1名
11月18日(木) ・19日(金)	内閣府「ヤングリーダー会議」	1名
12月8日(水)	大阪府「女性に対する暴力対策人材養成講座〈専門編〉」	1名
1月26日(水)	内閣府/大阪府「犯罪被害者の精神的被害回復を考える講演会」	1名
3月9日(水) ・10日(木)	内閣府「男女共同参画社会の実現に向けた 男女共同参画センター等の管理者等との情報交換会	1名

§ 3 広報・PR

1 広報事業

当財団の活動内容や事業成果等を広く発信するため、ホームページの運営やニュースレターの発行を行った。

(1) ホームページ (<http://www.ogef.jp/>) の管理・運営

①目的 当財団の活動内容等を広く情報公開することを目的にホームページを運営する。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	2,980	2,471	6,041	7,053	4,795	5,319	3,720	3,644	3,768	4,027	3,492	3,432	50,742
H21年度	5,144	3,189	3,300	2,156	2,058	3,286	1,826	1,520	2,027	1,880	1,657	2,884	30,927

(2) ニュースレター『DAWN通信』の発行

①目的 賛助会員やご寄付いただいた方などの支援者に向けて活動報告等を行うことを目的に、ニュースレターを発行する。

②発行頻度 季刊

③発行部数 2,000部

③内容等

No.	発行日	内容
第5号	平成22年 4月1日	特集「このような事業展開をしていきます！」 トピックス：自立化スタート～生まれ変わった財団に一層のご支援を～ 〈執筆〉時岡禎一郎（(財)大阪府男女共同参画推進財団理事長）
第6号	平成22年 6月1日	特集「はなみずきキャリア塾 ポッドキャスト開始/クッキングセラピー編開催」 トピックス：はなみずきキャリア塾が新たな展開 ～「クッキングセラピー編」開催にあたって～ 〈執筆〉本多利子（臨床心理士、クッキングセラピー工房「カモミール」主宰）
第7号	平成22年 9月1日	特集「男女共同参画の視点から次世代育成に取り組んでいます」 トピックス：これからの「幸せ」の話をしよう 〈執筆〉川中大輔（ファシリテーター、シチズンシップ共育企画代表）
第8号	平成22年 12月1日	特集「これまでの、女性に対する暴力に関する取り組み」 トピックス：女性に対する暴力…今後の課題 〈執筆〉川喜田好恵（ドーンセンターカウンセラー）

2 賛助会・サポーター制度運営

(1) 賛助会事務局の運営

①賛助会PR

②入会受付・賛助会カードの発行

③ニュースレターの発送（年4回）

④賛助会員優待事業の案内

映像フェスティバル「ファッションと女性」、ドーン・シネマクラブ 等

(2) 平成22年度入会状況

	会員種別	入会件数	口数
1	個人会員	140名	307
2	団体会員(非営利)	28団体	31
3	団体会員(企業)	8企業	17

(3) 賛助会員一覧(平成23年3月31日現在)

①個人会員

朝野 愛子/尼川 洋子/荒木 美子/石元 清英/池田 幸雄/伊田 久美子/伊藤 誠/
大畑 真由美/大林 弘子/岡田 昌子/梶川 富美子/萱村 勝利/川上 清/川崎 佳代子
/北山 博一/木山 美佳/九門 りり子/倉田 清/黒瀬 友佳子/黒田 まさ子/
伍賀 偕子/小谷 晴美/小松 満貴子/小森 利絵/志水 紀代子/清水 由喜/正路 怜子
/杉山 智博/鈴木 直子/鈴木 誠子/瀬尾 純子/外川 恵/高橋 幸雄/竹中 恵美子/
竹山 栄治/田代 眞朱子/田中 一好/田中 潤子/田中 良正/谷岡 文香/富田 静代/
中崎 郁子/中村 彰/中 美子/夏原 晃子/名取 千里/西辻 達也/橋本 博雅/
服部 道代/肥田 和子/藤田 良和/淵田 智/本多 利子/榎本 千里/升間 晶子/
萬田 久美子/溝上 久美子/溝手 伸子/三好 敬子/森 俊江/森村 暁子/山口 幸子/
山中 紀代子/山本 隆夫/吉岡 重彰/吉野 喜代美/若松 綾子/柳井 真智子/匿名希望
72名

②非営利団体

BPW 大阪クラブ

I 女性会議大阪

大阪心のサポートセンター

オパールネットワーク大阪

おんなの目で大阪の街を創る会

劇団シルバームーン

国際女性年大阪連絡会

(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会西日本支部

女性グループ翼

女性のエンパワメントをサポートする会

NPO法人生きがい大阪

NPO法人大阪市難聴者・中途失聴者協会

NPO法人大阪府中途失聴・難聴者協会

NPO法人関西こども文化協会

NPO法人心のサポート・ステーション

NPO法人ハーティ

NPO法人リトミック研究センター/大阪第一支局

NPO法人グループみこし

浪花勘亭流同好会

働く女性の人権センター いこる

メンズサポートルーム 他 7団体

③企業会員

株式会社学校事務機センター

株式会社グランビスタ ホテル&リゾート ホテル大阪ベイタワー

株式会社ゼロワン

株式会社タツミ

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

司法書士YSパートナーズ 他 2社

※50 音順、敬称省略

3 視察の受入れ

視察の受入れを行い、当財団事業についての説明を行った。

<受入れ実績>

	日時	内容	受入数
1	5月13日(木)	大阪女子短期大学生生活科学科「女性の一生」	学生 9名 教員 2名
2	9月7日(火)	施設設備、機能についての視察(医学研究所北野病院助産師)	3名
3	9月8日(水)	神奈川県議会 県民企業常任委員会	議員 11名 職員 3名
4	11月12日(金)	大阪教育大学生涯教育計画論専攻学生「生涯教育実践研究」	学生 17名 教員 1名
5	12月21日(火)	大阪市立助産師学院「助産学実習」	学生 20名 教員 2名

§ 4 事業概要

1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業

【事業概要】

- (1) 目的 女性に関する情報を収集、整理、加工し、データベース化するとともに、これらを活用して、多様な情報ニーズに的確に対応した情報を提供する。
- (2) 日時 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- (3) 場所 ドーンセンター 情報ライブラリー（2F）

【事業内容・実績】

(1) ドーンセンター情報ライブラリーの運営

女性関係の図書・雑誌・行政資料・視聴覚資料等の閲覧・視聴・貸出サービスを行うほか、利用者からの情報相談に応じる。情報ライブラリーの運営にあたっては、「大阪府立男女共同参画・青少年センター情報ライブラリー管理運営要領」に基づき行う。

- ①開館日時 火・水・木・土曜日 9:30～17:30
金曜日 9:30～20:00

②利用状況

<入館者数・ビデオ館内・貸出・返却・予約・新規登録>

	入館者数	ビデオ館内	貸出	返却	予約	登録(※1)
4月	2,215	94	875	807	26	25
5月	1,839	95	925	877	18	40
6月	2,247	116	1,055	1,052	27	23
7月	2,777	137	806	904	20	44
8月	2,581	163	1,066	929	10	32
9月	2,092	209	1,043	1,009	28	20
10月	2,226	92	1,001	985	20	30
11月	2,041	127	915	903	34	24
12月	2,029	95	798	836	11	20
1月	1,717	101	845	902	15	15
2月	2,104	112	783	832	14	19
3月	2,498	118	844	820	20	15
H22年度	26,366	1,459	10,956	10,856	243	307
H21年度	23,250	1,062	9,896	10,197	255	275

※1 ライブラリーカード新規登録者数（カード登録者数 計21,542人）

<資料別貸出冊数>

分類	平成22年度 (H23.3.31現在)	平成21年度 (H22.3.31現在)
図書・雑誌(冊)	6,759	6,329
行政資料(冊)	262	158
視聴覚資料(点)	3,935	3,409
合計	10,956	9,896

<情報相談>

ライブラリースタッフが、図書・資料・データベース等を活用して、検索指導や来館・電話・メールによる情報相談に応じる。

分 類	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
利用案内	4,880	4,468
検索指導	255	141
資料の所蔵・所在調査	1,076	730
特定テーマの資料案内	720	287
人材・学習情報の提供	282	317
グループ・施設情報の提供	119	124
ライブラリー活動・運営情報の提供	150	204
その他	0	3
合 計	7,482	6,724

<府内公共図書館協力貸出サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、大阪府立図書館の協力により、府内公共図書館への協力貸出サービスを行う。

府内公共図書館への貸出 (冊)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
	7	11

<大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）との相互貸借サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、府市連携により、所蔵資料の相互貸借サービスを行う。

クレオ大阪との相互貸借 (冊)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
	4	31

③図書・資料の蔵書数

	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
図 書 (冊)	41,742	41,190
行政資料 (冊)	12,633	12,410
視聴覚資料 (点)	2,191	2,143
ビデオ	1,688	1,688
DVD	469	421
カセットブック	34	34
雑誌 (冊)	49,380	48,047
タイトル数	1,665	1,636

(2) 人材情報データベースの管理運営

審議会や各種委員会委員候補となる女性人材や女性問題等の講師等に関するデータベースを管理運営し、依頼によって照会に応じる。

<既存データの更新> 年 1 回

<人材情報を提供した情報相談件数> 計 1 2 3 件

(3) ドーンセンターホームページの管理運営

ドーンセンターホームページ (<http://www.dawncenter.or.jp/>) の管理運営に係る統括者として、センターで実施される事業案内・トピックス等をホームページで情報提供する。

トップページ	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
	321, 315	334, 628

<メニュー別アクセス数>

メニュー名称	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
事業案内	44, 103	48, 847
施設案内	257, 799	247, 283
講座・イベント	148, 260	169, 368
情報ライブラリー	762, 542	690, 696
女性情報ステーション	88, 257	103, 381
出版物	85, 361	77, 876
事業統計	31, 071	35, 583
リンク集	10, 866	13, 368
Introduction in English	77, 941	78, 603
携帯電話による施設利用状況アクセス	4, 564	5, 495
合 計	1, 510, 764	1, 470, 500

(4) その他

①メールマガジン『e-D A W N』の発行

ドーンセンターの最新ニュースを伝えるメールマガジンを月 2 回発行。

登録者数 (人)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
	1, 286	1, 331

②情報メールサービスの配信

インターネット上で発信された情報から、男女共同参画に関わる活動や学習に活かせるものをピックアップし、月 1 回メールで配信。

登録者数 (人)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)	平成 21 年度 (H22. 3. 31 現在)
	213	191

③情報ライブラリー所蔵資料のテーマ展示

	テーマ	展示資料数	配布リスト数
4 月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム	130	300
	2009 年度貸出ランキング	152	300
	はなみずきキャリア塾Ⅱ 関連資料	65	300
6 月	シングルマザーの仕事と支援	119	200
	「男女共同参画週間」関連図書	130	200
	不妊のこと話し合ってみませんか	124	200

7月	ファッションと女性：ココ・アヴァン・シャネル	50	200
8月	子育てを楽しもう！頑張るお父さんを応援したい	117	200
	大事にしていますか？あなたのココロとカラダ	119	300
	ローラ・デルーズさんお勧めの図書	30	-----
9月	よりよい関係をつくるために：交際相手からの暴力防止	89	200
	働きづらさに悩む若いあなたへ	90	200
	フェミニストカウンセリング：女性の自立とエンパワメントを応援する	124	200
10月	女性に対する暴力をなくす運動	115	200
	不妊治療のいま・これから	124	200
11月	シングルマザーの仕事と支援	119	200
12月	作家田辺聖子の著書コーナー	50	-----
1月	原口鶴子さん写真、関連資料コーナー	20	-----
2月	つながりパープルダイヤル：性暴力被害・DV被害に悩む女性へ	119	300
	子育てを楽しもう！頑張るお父さんを応援したい	117	200
3月	防災・復興に男女共同参画の視点を	98	200

④視察・体験学習・フィールドワーク等の受入れ

	日時	内容	参加者数
1	4月22日(木)	視察(とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ)	5名
2	4月24日(金)	ライブラリーツアー(はなみずきキャリア塾Ⅱ受講生)	25名
3	4月27日(火)～ 4月30日(金)	職場体験(JOBプラザ OSAKA)	1名
4	5月13日(木)	大阪女子短期大学人間健康学科「女性の一生」	学生9名 教員2名
5	7月22日(木)	視察(ソウル特別市職員)	12名
6	7月27日(火)～ 7月28日(水)	初任者研修(大阪府立淀川工科高等学校、大阪府立芦間高等学校)	4名
7	8月10日(火)～ 8月11日(水)	初任者研修(大阪府立豊中高等学校、大阪府立渋谷高等学校、大阪府立池田高等学校)	4名
8	8月17日(火)～ 8月20日(金)	大谷大学人間社会学部「地域研究フィールドワーク実習」	2名
9	9月8日(水)	視察(神奈川県民企業常任委員会)	15名
10	9月24日(金)	視察(堺市人権教育)	7名
11	9月25日(土)	ライブラリーツアー(はなみずきキャリア塾Ⅱ受講生)	25名
12	10月28日(木)～ 10月29日(金)	大阪女学院大学「人権教育講座」	学生9名 教員1名
13	11月12日(金)	大阪教育大学生涯教育計画論「生涯教育実践研究」	学生17名 教員1名
14	11月19日(金)	大阪女学院大学「大学教育と社会」	学生4名 教員1名

15	11月25日(火)～ 12月10日(金)	同志社大学図書館司書実習	2名
16	11月30日(火)～ 12月3日(金)	職場体験 (JOB プラザ OSAKA)	3名
17	12月3日(金)	視察 (独立行政法人国際協力機構)	12名
18	12月11日(土)	視察 (NPO 法人みんなのまち、草の根ネットの会)	1名
19	12月21日(火)	大阪市立助産師学院フィールドワーク	学生20名 教員2名
20	1月22日(土)	ライブラリーツアー (はなみずきキャリア塾Ⅱ受講生)	25名
21		その他	71名
			計280名

⑤関連イベントの開催

情報ライブラリーが所蔵する「女たちの太平洋戦争：15歳の手記」を朗読するイベントを、後援事業として開催。(4月・5月・6月・8月)

2 女性の抱える問題に関する相談事業

【事業概要】

- (1) 目的 女性の直面しているさまざまな問題について、相談カウンセリングを通じ、女性の自立と主体的な生き方に向け、必要な援助と解決のためのサポートを行う。
- (2) 日時 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- (3) 場所 ドーンセンター サポート・カウンセリングルーム（3F）

【事業内容・実績】

(1) 女性のための面接相談

- ①日時 火～金曜日 17:00～21:00
土・日曜日 10:00～18:00
- ②相談員 専門の女性カウンセラー
- ③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成22年度										平成21年度	
主訴/年代		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		1	19	86	74	40	24	2	1	227	18.5	278	22.1
こころ		3	23	53	36	12	4	4	1	120	9.8	228	18.1
からだ		0	3	2	4	2	0	2	1	14	1.1	10	0.8
仕事上の問題		0	5	8	8	2	0	0	0	21	1.7	27	2.1
パートナー関係		0	2	70	69	22	19	1	1	165	13.5	297	23.6
親子・家庭の悩み		4	10	55	48	37	39	6	3	193	15.4	269	21.3
人間関係の悩み		0	13	40	27	8	6	0	3	89	7.3	126	10.0
性・暴力被害		1	31	169	148	44	36	6	0	387	31.6	23	1.8
暮らし		0	0	3	5	0	1	1	0	8	0.7	1	0.1
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.1
H22年度	合計	9	106	486	419	167	129	22	10	1,348	100.0	1,260	100.0
	(%)	0.7	7.9	36.1	31.1	12.4	9.6	1.6	0.7	100.0			
H21年度	合計	18	117	430	395	172	108	9	11	1,260			
	(%)	1.4	9.3	34.1	31.3	13.7	8.6	0.7	0.9	100.0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	114	111	125	120	113	103	118	101	108	96	115	124	1,348
H21年度	109	109	113	102	102	101	101	110	105	103	99	106	1,260

(2) 女性の悩み電話相談

①日 時 火～金曜日 17:00～20:00

土・日曜日 10:00～16:00

②相談員 女性相談員

③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成22年度										平成21年度	
主訴/年代		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		0	4	29	74	142	5	1	5	260	11.5	356	16.2
ところ		0	12	92	137	152	17	4	53	467	20.7	487	22.1
からだ		1	4	7	8	98	4	0	6	128	5.7	53	2.4
仕事上の問題		0	2	4	16	3	0	0	7	32	1.4	48	2.2
パートナー関係		0	8	51	69	34	20	2	12	196	8.7	314	14.3
親子・家庭の悩み		0	5	43	47	52	29	5	15	196	8.7	247	11.2
人間関係の悩み		1	13	46	82	37	14	1	35	229	10.1	183	8.3
性・暴力被害		3	21	40	42	24	10	1	28	169	7.5	19	0.9
暮らし		0	1	9	22	22	0	0	35	77	3.4	98	4.5
その他		1	0	6	0	1	1	1	493	503	22.3	394	17.9
H22 年度	合計	6	70	327	485	565	100	15	689	2,257	100.0	2,199	100.0
	(%)	0.3	3.4	14.5	21.5	25.0	4.4	0.7	30.5	100.0			
H21 年度	合計	1	61	391	407	534	161	19	625	2,199			
	(%)	0.0	2.8	17.8	18.5	24.3	7.3	0.9	28.4	100.0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	225	189	216	202	203	167	182	163	180	163	169	198	2,257
H21年度	193	189	188	184	214	169	201	167	158	179	165	192	2,199

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	391	387	404	445	472	460	372	422	315	406	496	508	5,078

(3) 相談事務局の運営

①目的 相談に関する問い合わせや面接相談の予約受付業務及び相談来訪者対応を行うとともに、より適切な相談機関につなぐためのインテークや情報提供業務を行う。

②日時 火～金曜日 13:30～18:00 18:45～21:00
土・日曜日 9:30～13:00 13:45～18:00

③対応件数

<問い合わせ・予約受付等件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談予約等	184	152	151	150	164	131	144	146	145	126	118	137	1,748
インテーク	24	13	23	17	11	12	20	12	13	8	20	23	196
事務電話	36	36	51	50	57	43	60	49	62	54	54	57	609
相談来訪者対応	114	111	125	124	119	106	128	111	114	98	126	134	1,410
合計	358	312	350	341	351	292	352	318	334	286	318	351	3,963

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	105	108	126	131	142	106	130	120	97	109	106	136	1,416

(4) 相談員会議の開催

①目的 相談事業に関わる相談員及び事務局スタッフが定期的に集まり、相談事業運営会議およびケース検討会を実施することで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。

②日時 原則第1火曜日 14:00～16:00 ※休館日にあたる場合は翌週に振替え

③出席者 電話・面接相談員、相談事務局、ディレクター、シニアディレクター、事務局長
※その他、議題に応じて関係者が出席

④内容・出席者数

	月 日	議題	出席者数
1	4月 6日 (火)	平成22年度業務推進体制について/相談事業の運営について	16名
2	5月11日 (火)	相談員研修の実施について/ケース検討会について	13名
3	6月 1日 (火)	社会資源情報の提供について/ケース検討会	15名
4	7月 6日 (火)	女性相談センターとの連絡会議報告/ケース検討会	14名
5	8月 3日 (火)	大阪府被害者支援会議報告/ケース検討会	14名
6	9月 7日 (火)	スーパービジョン講座報告/ケース検討会	15名
7	10月5日 (火)	平成23年度指定管理への対応について/ケース検討会	15名
8	11月2日 (火)	平成23年度指定管理への対応について②/ケース検討会	15名
9	12月7日 (火)	平成23年度指定管理への対応について③/ケース検討会	13名
10	1月18日 (火)	諸事情にて中止/メールにて必要事項連絡	0名
11	2月 1日 (火)	来年度の面接及び電話相談について/ケース検討会	15名
12	3月 1日 (火)	来年度の相談員会議について/ケース検討会	14名

(5) 相談員研修の実施

①目的 電話・面接相談を担当する相談員を対象に、スーパービジョンの機会をつくることで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。

また、新たに相談員を雇用した場合は、一定期間の研修を行う。

②日時 随時

③対象 電話・面接相談員、相談事務局スタッフ

④内容

<新任相談員・スタッフ研修>

	月 日	内容	参加者数
1	4月23日(金)	相談事務局について/インテーク・予約受付・来訪者対応実習①	1名
2	4月25日(日)	インテーク・予約受付・来訪者対応実習②	1名
3	5月1日(土)	インテーク・予約受付・来訪者対応実習③	1名
4	5月18日(火)	ドーンセンター相談事業・相談システム体制について/ 相談の記録について/特別な対応が必要な場合	1名
5	5月20日(木)	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム 「女性相談とは～女性のエンパワメントのための相談のあり方～」	2名
6	6月3日(木)	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム 「女性の悩みとジェンダー～相談の現場から～」	2名
7	6月10日(木)	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム 「女性相談の実際～構成事例を使って①②～」	2名
8	7月23日(金)	「配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナー in 大阪」	2名
9	9月15日(水)	DV研修ビデオ視聴	3名
10	10月7日(木)	交際相手からの暴力の予防啓発指導者のための研修	2名

<スーパービジョン>

	月 日	内容	参加者数
1	7月8日・29日(木) 8月5日・19日(木)	女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのための「スーパービジョン講座」	1名
2	11月6・27日(土) 12月4日(土)	女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのための「スーパービジョン講座(DV被害者支援編)」	2名
3	9月～1月	個人スーパービジョン	10名

(6) その他の研修・連絡会議

	月 日	内容	参加者数
1	11月26日(金)	大阪府女性相談センターとの連絡会議	1名

(7) 広報

①リーフレットの作成、関係機関への配布

4月：3,000部

11月：500部

②ホームページ・メールマガジンなどを活用したWEB発信

4月：ドーンセンターホームページ更新

③関係機関が発行する相談先一覧への掲載

	媒体
4月	和泉市役所啓発冊子「女性問題総合相談窓口」（平成22年度版） 堺市自殺対策事業リーフレット「相談機関一覧（悩み相談）2010年度版」
5月	大阪府警察本部「被害者の手引き」 堺市「ひとり親サポートブック」女性のサポートテレフォン
6月	吹田市「くらしの友」／茨木市「ひとり親家庭の施策案内」 大阪府警察本部「大阪府の相談窓口」
9月	和泉市男女共同参画啓発カレンダー（2011年）
10月	堺市教育委員会「人権啓発冊子」
3月	男女課より「安心生活応援BOOK」

④研修・講座受講生への案内

	研修・講座名
5月	「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」 「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」
7月	「配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナーin大阪」
8月	「女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのためのスーパービジョン講座」
9月	「2010 フェミニストカウンセリング専門講座」理論コース
10月	「交際相手からの暴力の予防啓発指導者のための研修」
11月	「スーパービジョン講座＜DV被害者支援編＞」／「ファシリテーション・スキル講座」
1月	「2010 フェミニストカウンセリング専門講座」研究コース

⑤その他

財団ニューズレター『DAWN通信：第5号』掲載

（8）社会資源情報の収集と提供

	研修・講座名
4月	性暴力救援センター・大阪SACHICO「24時間ホットライン」
5月	民間シェルター相談窓口
6月	立命館大学法科大学院「リーガルクリニックⅡ女性と人権」
8月	特定非営利活動法人アラノン・ジャパン アラノン家族グループ 大阪市若者自立支援事業「コネクションズおおさか」
9月	大阪府外国人情報コーナー／養育費相談センター 大阪府こころの健康総合センター「平成22年度大阪府内で精神疾患の診療を行う機関一覧」
10月	共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク主催 「セクシュアル・マイノリティ悩み相談ホットライン」
11月	大阪自殺防止センター電話相談の時間変更

(9) カウンセラー派遣

①目的 配偶者からの暴力による被害者を保護している民間シェルターに対し、被害者の心理的援助を行う女性カウンセラーを派遣し、被害者の自立に資する。

②派遣・相談件数

<月別件数>

平成21年度													
派遣先/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シェルター (I)	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	7	8	61
	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	7	8	61
シェルター (S)	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	34
	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	34
シェルター (R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター (Y)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター (A)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	6	6	6	6	6	6	7	10	10	10	11	12	96
	6	6	6	6	6	6	7	10	10	10	11	12	96

シェルター名については保護の必要上、頭文字等で表す。上段は訪問回数、下段は相談者数

<前年度比較>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成22年度	6	6	6	6	6	6	7	10	10	10	11	12	96
	6	6	6	6	6	6	7	10	10	10	11	12	96
平成21年度	5	6	5	6	5	5	12	7	7	7	5	6	76
	6	8	5	7	6	6	13	10	9	9	7	8	94

<カウンセラーとの連絡会議>

	月 日	内容	参加者数
1	6月25日(金)	団体NPO化に伴う名称変更等について	2名
2	10月24日(日)	入所者の少ない施設スタッフのケアについて	2名

(10) その他

①啓発講座事業において相談員が講師を務め、女性相談の知識と技術を提供

5月:「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」

5~6月:「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」

②援助者養成講座において相談員が講師・スーパーバイザーを務め、女性相談の知識と技術を提供

7~8月:「女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのためのスーパービジョン講座」

9~10月:「2010 フェミニストカウンセリング専門講座」理論コース

11～12月：「女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのための

スーパービジョン講座＜DV被害者支援編＞」

1～2月：「2010 フェミニストカウンセリング専門講座」研究コース

③内閣府主催「内閣府配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業」において相談員が講師を務め、DV・性暴力被害者支援に必要な知識と技術を提供

1月：「内閣府配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業」電話相談員研修

2月：「内閣府配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業」男女共同参画センター等の相談員研修

3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業

【事業概要】

(1) 目的 男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画社会基本法、大阪府男女共同参画推進条例並びに改定おおさか男女共同参画プランの趣旨を踏まえ、大阪府域における男女共同参画施策の課題を分析し、実践的かつ効果的な講座やワークショップ、学習会等を下記項目ごとに実施する。

- ①府内市町村の男女共同参画施策に関わる職員向け研修講座等
- ②府内学校教職員向け啓発講座等
- ③企業・働く人向け啓発講座等
- ④府民向け啓発講座等

(2) 日時 平成22年4月1日～平成23年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム<基礎編>」

- ①目的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、ジェンダーの視点を高め、プログラムを企画・立案し、事業を推進していく力量の形成をめざす。
- ②日時 平成22年5月20日（木）～6月17日（木） 全6回
- ③場所 ドーンセンター大会議室2（5F）
- ④対象 大阪府及び府内市町村の男女共同参画施策に携わる職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：40名、参加者数：36名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	5月20日（木） 10：30～13：00	世界の流れ・日本の動きを知る 清野博子（元ドーンセンター館長）	29名
2	5月20日（木） 14：00～16：00	女性相談とは ～女性のエンパワメントのための相談のあり方～ 川喜田好恵（(財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）	28名
3	5月27日（木） 10：30～12：30	担当者のための情報活用ノウハウ ～女性情報、インターネット、著作権～ 木下みゆき（(財)大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	25名
4	5月27日（木） 14：00～16：00	五感で考えるジェンダー 田上時子（(財)大阪府男女共同参画推進財団監事）	23名
5	6月10日（木） 14：00～16：30	講座の企画 仁科あゆ美（(財)大阪府男女共同参画推進財団シニアディレクター）	25名
6	6月17日（木） 14：00～16：30	講座の広報・運営 仁科あゆ美（(財)大阪府男女共同参画推進財団シニアディレクター）	25名
			(延)155名

(2) 「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム<応用編>」

- ①目的 男女共同参画の啓発における新しい取組として、既に基本的知識・視点を身に付けた職員を対象に、次のような体験型研修を実施する。各担当者が地域の男女共同参画推進に参画する人材育成「女性のキャリア支援」を行っていくために、女性のキャリアについて、その概念を理解する。また女性のキャリア事例分析を通して、女性のキャリア支援に有効な方策と課題（問題解決のための取組）を把握する体験型研修を実施する。
- ②日時 平成22年11月18日（木）13:00～17:00
- ③場所 ドーンセンター大会議室2（5F）
- ④対象 大阪府及び府内市町村の男女共同参画施策に携わる職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：100名、申込者数：16名、参加者数：16名



		テーマ/講師	参加者数
1	11月18日(木) 13:00～17:00	女性のキャリアとは ～キャリア支援に有効な事業を実施するために～ 中野洋恵(独立行政法人国立女性教育会館研究国際室長、主任研究員)	16名

(3) 「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」

- ①目的 女性を対象とした相談事業に携わる職員が、女性の悩みの背景にあるジェンダー問題を理解するとともに、男女共同参画社会づくりの視点から、相談事業のあり方や女性相談の実際について具体的に学び、相談事業の運営に役立ててもらうことを目的に開催する。
- ②日時 平成22年5月20日（木）、6月3日（木）・10日（木）
- ③場所 ドーンセンター大会議室2・1
- ④対象 大阪府及び府内市町村の女性相談事業に携わる職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：49名、参加者数：48名



	日時	テーマ/講師	参加者数
1	5月20日(木) 14:00～16:00	女性相談とは ～女性のエンパワメントのための相談のあり方～ 川喜田好恵 ((財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー)	42名
2	6月3日(木) 14:00～16:00	女性の悩みとジェンダー ～相談の現場から～ 宮本由起代 ((財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー)	38名
3	6月10日(木) 13:00～15:00	女性相談の実際 ～構成事例を使って①～ 杉本志津佳 ((財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー)	33名
4	6月10日(木) 15:00～17:00	女性相談の実際 ～構成事例を使って②～ 杉本志津佳 ((財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー)	34名
			(延)147名

(4)「学校教員のための研修プログラム」

- ①目的 学校教員が、キャリア形成（生涯にわたる仕事と生活の関係）を長期的視点でとらえ、子どもたちが生涯にわたるキャリア創造力を育成する視点を獲得できるよう、小・中・高それぞれの立場で、各校・クラス・授業等での取組を考える実践的な研修を開催する。

多様なキャリアの軌跡を紹介しながら、とりわけ、固定的な性別役割分業意識等により、性別によってライフプランを中断せざるを得ない状況に陥ることのないように、その対応を考慮するなど、男女共同参画の視点をもってキャリア教育に取り組むことを考える。

- ②日時 平成22年10月30日（土）・11月6日（土）
 ③場所 ドーンセンター大会議室2（5F）
 ④対象 大阪府内の小学校・中学校・高等学校・支援学校の教員
 ⑤参加費 無料



- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：28名、決定者数：28名、参加者数：27名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月30日（土） 13：00～17：00	学校教員のための研修プログラム＜実態編＞2コマ キャリアを分析する～私のたどってきた道 大畑真由美（大阪府立八尾高等学校教諭、学校心理士） 森崎理香（大東市北条小学校教頭）	（延）16名
2	11月6日（土） 10：00～17：00	学校教員のための研修プログラム＜実践編＞3コマ 『新13歳のハローワーク』を活用した教案づくり 大畑真由美（大阪府立八尾高等学校教諭、学校心理士） 森崎理香（大東市北条小学校教頭） 福田真弓（2級キャリア・コンサルティング技能士）	（延）17名
			（延）83名

(5)「企業の人事労務担当者のための研修プログラム」

- ①目的 女性の能力活用の必要性を感じそれに取り組んでいる、あるいはこれから取り組みたいと考えている企業の管理職等を対象に、管理職が社員とのコミュニケーションをはかるうえでの手法、コーチングスキルについて学び、社員が活き活き働ける職場づくりの参考とする。

- ②日時 平成23年2月3日（木） 13：00～17：00
 ③場所 ドーンセンター大会議室2（5F）
 ④対象 企業の管理職他、テーマに関心のある人
 ⑤参加費 無料



- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：71名、決定者数：71名、参加者数：59名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月3日（木）	社員を活かすコーチング 守婦朋子（フェミニストコーチング大阪 代表）	59名

(6)「府民向け啓発講座」

- ①目的 生きづらさや働きづらさを感じている若年層、これからのキャリア形成を模索している世代を対象に、幅広い生き方を提示することによって、対象者をエンパワメント支援することを目的として実施する。
- ②日時 平成23年3月19日(土) 13:30～17:00
- ③場所 ドーンセンター大会議室2 (5F)
- ④対象 テーマに関心のある人
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：41名、参加者数：30名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月19日(土) 13:30～17:00	自分らしい生き方・働き方を考える 熊谷恵利子 (NPO 法人日本クリニックラウン協会) 若松周平 (㈱YEVIS 事業本部長) 弘本由香里 (大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所)	30名

1 働く女性の仕事塾「はなみずきキャリア塾Ⅱ」

【事業概要】

- (1) 目的 働く女性の「仕事」と「生活」の充実、個々のモチベーションアップをめざし、生涯にわたってキャリアを創造する力量形成を目的とした実践的なセミナーを開催する。
- (2) 日時 平成22年4月～平成23年3月
- (3) 場所 ドーンセンター 特別会議室（5F）
- (4) 対象 女性
- (5) 参加費 全日 25,000 円、A10,000 円、B10,000 円、C8,000 円、各日 3,000 円



【事業内容・実績】

(1) 「はなみずきキャリア塾Ⅱ：A 創る」

①日時 平成22年4月24日（土）～7月24日（土）

②内容・参加実績 定員：各回50名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	4月24日 13:30～16:30	第1部「キャリアを創る」 スピーカー：カローラ・ヤブケ (帝人クリエイティブスタッフ(株)グローバル人事室長) 通訳：西本あや (帝人クリエイティブスタッフ(株)グローバル人事室) コーディネーター：八木早希 (毎日放送アナウンサー) ----- 第2部「美と身体表現」 講師：関典子 (舞踊家、神戸大学大学院専任講師)	46名
2	5月22日 13:30～16:30	第1部「新しい仕事を創る」 スピーカー：荒井寛子 (株)JTB 西日本西日本海外旅行団体販売部 商品企画担当課長) 吉田理恵 (株)アドバンテッジリスクマネジメント 大阪法人営業部担当課長) コーディネーター：八木早希 (毎日放送アナウンサー) ----- 第2部「美食を楽しむーフランス料理博物館へのご招待」 講師：米津春日 (リーガロイヤルホテル料理特別顧問)	48名
3	6月26日 13:30～16:30	第1部「ぶれない視点をもつ」 スピーカー：伊藤みどり (積水ハウス(株)経営企画部 女性活躍推進グループリーダー) 平岡美香 (平岡建築デザイン一級建築士事務所代表) コーディネーター：八木早希 (毎日放送アナウンサー) ----- 第2部「映画が面白い」 講師：岸野令子 (映画パブリシスト、有限会社キノ・キネマ代表)	47名

4	7月24日 13:30~16:30	第1部「元気の素をもつ」 スピーカー：中島智子（㈱ダスキン新規事業開発部） 堀山可奈子（Hiyoshi・マネジメントオフィス代表） コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー）	69名
		第2部「日本庭園の魅力」 講師：重森千青（作庭家、有限会社重森庭園設計研究室主宰、 京都工芸繊維大学非常勤講師）	
			(延)209名

(2)「はなみずきキャリア塾Ⅱ：B 活かす」

①日 時 平成22年9月25日（土）～12月25日（土）

②内容・参加実績 定員：各回50名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月25日 13:30~16:30	第1部「転機を活かす」 スピーカー：奥西有美（㈱アイ・キューブ取締役 生活研究室長） 千葉潮（図書出版・合同会社メディアアイランド、 編集企画アルゴ代表） コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー）	36名
		第2部「地域コミュニティをデザインする」 講師：山口洋典（應典院主幹、同志社大学大学院 総合政策科学研究科准教授）	
2	10月23日 13:30~16:30	第1部「ネットワークを活かす」 スピーカー：川瀬幸子（三菱電機㈱広報部関西広報室専任） 曾山睦子（プロデューサー、 ㈱放送映画製作所制作センター副部長） コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー）	48名
		第2部「アメリカのワーキングウーマンは今」 講師：中村艶子（同志社大学言語文化教育研究センター准教授）	
3	11月27日 13:30~16:30	第1部「資格を活かす」 スピーカー：掛谷純子（公認会計士） 平野園恵（シニア産業カウンセラー、 2級キャリア・コンサルティング技能士） コーディネーター：和田麻実子（ラジオ大阪アナウンサー）	52名
		第2部「映画鑑賞「THE ダイエット！」」 講師：宮本由起代（NPO法人心のサポートステーション代表理事）	
4	12月25日 13:30~16:30	第1部「人を活かす」 スピーカー：大野智代（㈱宣成社取締役、企画開発室室長） 的野美幸（富士生命保険㈱本社教育部 営業教育担当課長） コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー）	51名

		第2部「色で元気になる」 講師：桶村久美子（カラーアナリスト、フリーアナウンサー）	
			(延)187名

(3)「はなみずきキャリア塾Ⅱ：C 自分を大切にする」

①日 時 平成23年1月22日（土）～3月26日（土）

②内容・参加実績 定員：各回50名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月22日 13:30～16:30	第1部「緩急をつける」 スピーカー：松山文佳（三菱電機情報ネットワーク㈱ フィールドサービス部関西システム課長） 朴君愛（(財)アジア・太平洋人権情報センター 企画業務グループ上席研究員） コーディネーター：古川圭子（毎日放送アナウンサー） ----- 第2部「漢字を知る」 講師：魏名婕（㈱中国語青藍学園園長）	26名
2	2月26日 13:30～16:30	第1部「完璧をめざさない」 スピーカー：梶原冬江（㈱クロスキンキ 企画・開発課長） 柴山順子（㈱プロエントコミュニケーションズ 代表取締役） コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー） ----- 第2部「韓国の伝統文化～ポシャギ」 講師：李京玉（ポシャギ作家、ポシャギ工房 koe 主宰）	36名
3	3月26日 13:30～16:30	第1部「時間をマネジメントする」 スピーカー：鳥淵朋子（アクト研究室） 廣瀬文栄（㈱クボタ人事部ダイバーシティ推進室長） コーディネーター：八木早希（毎日放送アナウンサー） ----- 第2部「ワーキング・ウーマンのメンタルヘルス、ここが危ない！」 講師：安田香珠子（「こころの相談室 Woman」主宰、 女性問題専門心理カウンセラー）	39名
			(延)101名

2 はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト

【事業概要】

- (1) 目的 女性が働き続ける中で、ロールモデル不在や女性初のポジションへの戸惑いが悩みとして聞かれる。「はなみずきキャリア塾」では、さまざまな困難の乗り越え方、キャリアアップ・チェンジ、モチベーション維持、管理職としての人材マネジメント、ワークライフバランスなどについて、ロールモデルとしてのスピーカーが、自身の体験を提示し参加者と共に課題を共有することで好評を得ている。この「はなみずきキャリア塾」をセミナー限りで終わらせず、距離や諸事情により参加できない女性たち、また将来のキャリアを考える若い世代に広く伝えていくために、インターネット(ポッドキャスト)を活用した情報配信を行う。
- (2) 配信日 毎月第4火曜日更新

【事業内容・実績】

- ①内容 はなみずきキャリア塾に登壇したスピーカーに、各テーマに沿って取材。録音・編集後、当財団ホームページのポッドキャストにて公開。
- ②音楽 「風の通る街」(企画・演奏：平岡洋子、作曲：奥村悦子)

	配信日	テーマ/スピーカー
1	6月22日	キャリアを創る/野上麻理 (P&Gジャパン バイスプレジデント)
2	7月27日	社会起業家として働く/高津玉枝 (株式会社トッピング代表取締役社長、株式会社福市 代表)
3	8月24日	広い視野で働く/黒瀬友佳子 (帝人クリエイティブスタッフ株式会社 ダイバーシティ推進室長)
4	9月28日	専門力を活かして働く/森由美子 ((有) オフィスアイエム代表、翻訳者)
5	10月26日	しなやかに働く/石野伸子 (産経新聞編集局編集委員)
6	11月24日	私を活かして働く/森松明子 (コアアクティブコーチ)
7	12月28日	女性が働きやすい会社を創る/広野郁子 (㈱アイキューブ代表取締役)
8	1月25日	アート分野で働く/綾智佳 (The Third Gallery Aya 代表)
9	2月22日	好きなことを仕事にする/桶屋かおる (合資会社ブランプラン代表)
10	3月23日	管理職として働く/古大工真規 (旭化成アミダス㈱キャリアサポート事業部 人材紹介事業グループ部長)

3 「はなみずきキャリア塾」特別編

【事業概要】

- (1) 目的 「はなみずきキャリア塾」は第1部「ワークの充実」・第2部「ライフの楽しみ」で構成し、働く女性の「仕事」と「生活」の充実、個々のモチベーションアップをめざし、生涯にわたってキャリアを創造する力量形成を目的としている。特別編では、同塾の実施から浮かび上がってきた課題、好評で反響が大きかったテーマ等に特化し、更に掘り下げ、スキルを獲得するなどのプログラムを実施する。
- (2) 日時 平成22年7月～平成23年3月

【事業内容・実績】

(1) 「はなみずきキャリア塾：クッキングセラピー編」

- ① 目的 料理と心理学を重ねながら、「作る」「食べる」「つながる」ことを通して、働く女性の心のセルフケアを学ぶ。
- ② 日時 平成22年7月17日(土)・31日(土)
- ③ 参加費 6,000円(2回、材料費込み)、各3,500円
- ④ 講師 本多利子(臨床心理士)
- ⑤ 内容・参加実績 定員：30名、申込者数：49名、参加者数：44名



	日時	テーマ/講師	参加者数
1	7月17日	第1部 クッキングとランチ「包む」 第2部 レクチャー「包むの心理学」	34名
2	7月31日	第1部 クッキングとランチ「混ぜる」 第2部 レクチャー「混ぜる・つながるの心理学」	31名
			(延)65名

協賛：JR八幡浜駅「駅なか浜っ子」、株式会社グランドワーク

(2) 「はなみずきキャリア塾：働く女性のためのパソコン講座編

～わかりやすく伝える、効果的パワーポイント活用法～

- ① 目的 近年、日本のビジネス社会においてはパソコンスキルは必須条件となっている。そこで、更にパソコンスキルを向上させて仕事のステップアップをめざす女性を対象に、パソコン講座を開催する。今回は、社内・社外に対する「新商品」や「事業計画」の発表及び、商談などにも欠かせないプレゼンテーションソフト「パワーポイント」を取り上げ、わかりやすく、説得力があり、相手の共感をつかむことのできるプレゼンテーションを行うためのパワーポイントの効果的な活用法を学ぶ。
- ② 日時 平成22年10月1日(金)、8日(金)、14日(木)
- ③ 参加費 9,000円
- ④ 講師 堀山可奈子(Hiyoshi マネジメント・オフィス 代表)
- ⑤ 内容・参加実績 定員：15名、申込者数：16名、参加者数：15名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月1日(金)	基本操作のおさらい	13名
2	10月8日(金)	効率よく編集・インパクトのあるスライドデザイン	15名
3	10月14日(木)	わかりやすく伝わる、作り方のコツ	12名
			(延)40名

(3) 「はなみずきキャリア塾：リラクゼーション・ボディワーク編①」

- ①目的 バレエを取り入れたエクササイズにより、身体をしなやかに、かつ整えながら、心身共に健やかな状態に導く。また、自分自身の身体への意識を高めるとともに、心身の調和のとれた状態の心地よさを感じることで、自分でストレスを解放できる力を身につける。

- ②日時 平成22年12月1日(水)、8日(水)、15日(水)

- ③参加費 4,800円(全3回)、各回1,800円

- ④講師 金井真沙美

(アンチエイジング美エクササイズ、フィットネス・インストラクター)

- ⑤内容・参加実績 定員：25名、申込者数：17名、参加者数：17名



	日時	テーマ	参加者数
1	12月1日(水)	姿勢：バランスのとれた姿勢とアンバランスな姿勢	11名
2	12月8日(水)	知識：心とカラダをときほぐすための知識／金井真沙美	10名
3	12月15日(水)	方法：マイナートラブルの改善をめざす／金井真沙美	11名
			(延)32名

1 母子家庭のお母さん等を対象とした職業訓練

【事業概要】

- (1) 目的 独立行政法人雇用・能力開発機構の委託による母子家庭の母等を対象に職業訓練プログラムを実施し、早期の就労による経済的自立を目指す。
- (2) 場所 ドーンセンター セミナー室2 他
- (3) 対象 訓練後、すぐに就職したいと考える母子家庭の母親等
- (4) 参加費 無料（ただし、テキスト代2,500円）
- (5) 協力 ハローワーク、マザーズハローワーク、JOB プラザ OSAKA 他



【事業内容・実績】

(1) 母子家庭のお母さん等を対象とした職業訓練 7月コース

- ①目的 就労に必要なパソコン基礎技術等を習得する。
- ②日時 平成22年7月1日（木）～29日（木）9：30～16：30
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：23名、参加者数：20名（延べ380名）

(2) 母子家庭のお母さん等を対象とした職業訓練 12月コース

- ①目的 就労に必要なパソコン基礎技術等を習得する。
- ②日時 平成22年12月1日（水）～25日（土）9：45～16：45
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：16名、参加者数：16名（延べ288名）

④内容 *7月コース、12月コース共通

パソコン実務	時間	しごと準備	時間
文書作成ソフト入門	19h	オリエンテーション、修了式、交流会	4h
文書作成ソフト応用	8h	自己紹介、アサーション	3h
表計算ソフト入門	19h	家族・子どもとの関係づくり術	4h
表計算ソフト応用	11h	自分の強みさがし	
ファイル管理ソフト入門	3h	求人状況の現状などについて、	6h
プレゼンテーションソフト入門	5h	様々な働き方、働く女性を取り巻く状況	
インターネット入門	3h	先輩の体験談、仕事の探し方、	8h
パソコン練習実践	11h	キャリアプランの立て方・発表	
		履歴書・職務経歴書の書き方、	4h
		面接のコツ	
		合計	108h

2 働きづらさに悩む若い女性のためのパソコン講座事業

【事業概要】

- (1) 目的 これまで女性関連施設が十分に対象としてこなかった若い女性を対象に、「パソコン講座」と「しごと準備講座」を通して、就業や生活自立を支援する。
- (2) 場所 ドーンセンター セミナー室2 他
- (3) 対象 15歳～39歳のシングル女性
- (4) 参加費 無料
- (5) 協力 大阪府若者サポートステーション、ハローワーク 他



【事業内容・実績】

(1) 働きづらさに悩む若い女性のためのパソコン講座事業 10月コース

- ①目的 パソコンスキルや自己尊重意識を習得し、就労に向けて一步前進する。
- ②日時 平成22年10月1日(金)～26日(火) 13:00～17:00
- ③参加実績 定員: 20名、申込者数: 23名、参加者数: 17名(延べ238名)

(2) 働きづらさに悩む若い女性のためのパソコン講座事業 11月コース

- ①目的 パソコンスキルや自己尊重意識を習得し、就労に向けて一步前進する。
- ②日時 平成22年11月4日(木)～30日(火) 13:00～17:00
- ③参加実績 定員: 20名、申込者数: 13名、参加者数: 11名(延べ154名)

④内容 *10月コース、11月コース共通

パソコン実務	時間	しごと準備	時間
文書作成ソフト基本操作	10h	自己紹介、アサーション	4h
ビジネス文書の作成	3h	しんどくないよ、人間関係	3h
表計算ソフト基本操作	10h	先輩に聴く!	6h
インターネット入門	3h	語り合いの場: 私の目標	
パソコン練習実践	4h	面接のコツ	4h
		資格を活かす	
		情報活用のコツ	3h
		合計	50h

1 若年層を対象とした交際相手からの暴力予防啓発指導者研修

【事業概要】

- (1) 目的 内閣府では、若年層に対して、交際相手や配偶者からの暴力の問題について考える機会を積極的に提供することが、男女間における暴力の防止に有用であると考え、男女の対等なパートナーシップや暴力を伴わない人間関係の構築に向けた啓発の実施を目的に、予防啓発プログラムを開発し、予防啓発教材、指導者用DV D、指導者用手引の教材セットを作成した。
- 平成22年度は、この教材を関係機関に広く配布するとともに、若年層に対して指導的立場にある方に対し、若年からの予防啓発の重要性や教材を用いた効果的な指導の方法等についての研修を各地で開催する。
- (2) 会場 佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）
大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
仙台市男女共同参画推進センター（エル・ソーラ仙台）
- (3) 対象 若年層（高校生・大学生）への啓発・教育機会のある教員等、スクールカウンセラー等、地方公共団体の男女共同参画担当職員、暴力に関する相談・支援担当職員、予防啓発活動を行っている民間団体等、人権問題に携わる者等



【事業内容・実績】

(1) 交際相手からの暴力の予防啓発指導者のための研修

- ① 目的 交際相手からの暴力の問題について、より積極的に効果的な予防啓発への取組がなされ、一人でも多くの若年層に暴力のない人間関係について考える機会が提供されるよう、若年層に対して指導的立場にある方に対し、若年からの予防啓発の重要性や予防啓発教材を用いた効果的な指導の方法等についての研修を開催する。
- ② 日時 平成22年10月7日（木）・8日（金）10:00～17:00
- ③ 場所 ドーンセンター 特別会議室（5F）
- ④ 参加費 無料
- ⑤ 内容・参加実績 定員：各回50名、申込者数：168名、参加者数：155名

	内容	参加者数
1	主催者挨拶／オリエンテーション	7日83名
2	概要説明「内閣府の若年層を対象とした交際相手からの予防啓発への取組について」 講師 池橋みどり（内閣府男女共同参画局推進課 暴力対策専門職）	8日72名
3	講義「交際相手からの暴力の実態と支援について」 ／若年層に対して指導的立場にある者の役割について」 講師 原健一（佐賀県DV総合対策センター所長）	
4	講義・ワーク「効果的な予防啓発とは～教材を用いた指導の実際」 講師 原健一（佐賀県DV総合対策センター所長）	
		(延)155名

2 配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナー

【事業概要】

(1) 目的 改正配偶者暴力防止法により、市町村においても配偶者暴力相談支援センターの設置が可能になったことなどから、内閣府では、全国の地方公共団体の相談担当者等を対象に、相談事案の手続き等が円滑かつ迅速に対応できるようにするとともに、相談業務の質の向上を図ることを目的とした標記セミナーを実施している。

今年度は、独立行政法人国立女性教育会館が、全国4地域（大阪府・東京都・宮城県・福岡県）において開催し、大阪府においては、当財団が共催して実施する。

【事業内容・実績】

(1) 配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナーin大阪

①目的 配偶者暴力支援センターや男女共同参画センター等の経験の浅い相談担当職員等を対象に、配偶者からの暴力に関する相談担当者として必要な基礎知識と技術を習得するため、関係法令、相談の流れ、相談事例や相談に際しての留意事項など、基礎的・実践的な内容の基礎セミナーを行う。

②日時 2010年7月23日（金）9：45～17：10

③場所 ドーンセンター特別会議室（5F）

④対象 全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、相談員等として経験年数が概ね2年未満の方（地方公共団体、民間団体における相談担当員も受講可）。

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：80名、申込者数：95名、参加者数：85名、決定者数：85名

	内容	参加者数
1	主催者挨拶／オリエンテーション	85名
2	講義「配偶者からの暴力の実態と支援に役立つ法知識」 講師 川畑真理子（とよなか男女共同参画センター相談担当主任） 乗井弥生（女性共同法律事務所弁護士）	
3	講義・ワーク「配偶者からの暴力に関する相談の受け方」 講師 景山ゆみ子（名古屋市男女平等参画推進室主幹（相談）） 平川和子（東京フェミニストセラピセンター所長）	
4	まとめ	

3 2010フェミニストカウンセリング専門講座

【事業概要】

- (1) 目的 女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方などを対象に、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な知識と技術を提供することで、女性の心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1)「2010フェミニストカウンセリング専門講座：理論コース」

- ①目的 フェミニストカウンセリングの中でも重要なテーマを取り上げ、女性のおかれている状況やそこからくる心理的問題を考えるとともに、ジェンダーに敏感な視点がなければ適切に対応できない、DV、性暴力・虐待サバイバーへのサポートのあり方を学ぶ。
- ②日時 2010年9月25日(土)～10月30日(土)
10:30～16:30 ※4日間・全8回(計20時間)
- ③場所 ドーンセンター大会議室1(4F)
- ④対象 ①女性を対象とした相談事業や、メンタルヘルスに関する事業に関わっている方
②カウンセリングの基礎知識があり、フェミニズムの視点に立った女性への心理的援助に関心のある方
③上記いずれかに該当し、原則全回参加できる方
- ⑤参加費 20,000円
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：43名、決定者数：41名、参加者数：41名



	日時	テーマ/講師	参加者数
1	9月25日(土)	フェミニストカウンセリングとは ～女性のエンパワメントのための考え方と技法～ 川喜田好恵(日本フェミニストカウンセラー協会代表理事)	36名
2	9月25日(土)	“家族”にまつわる神話と実態 加藤伊都子(フェミニストカウンセリング堺カウンセラー)	36名
3	10月9日(土)	法と司法に潜むジェンダーバイアスを知る 乗井弥生(弁護士)	36名
4	10月9日(土)	「女」と「男」だけじゃない ～“多様な性”の子どもたちとどう関わるか～ 川西寿美子(大阪私立学校人権教育研究会)	36名
5	10月23日(土)	性暴力被害の実態 ～被害者支援の現場から～ 周藤由美子(ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー)	37名
6	10月23日(土)	性暴力・DV被害者への医療 ～被害者の心身のケアと治療～ 加藤治子(阪南中央病院、はるウィメンズクリニック産婦人科医師)	37名
7	10月30日(土)	暴力構造とジェンダー 川喜田好恵(日本フェミニストカウンセラー協会代表理事)	34名
8	10月30日(土)	虐待・暴力サバイバー支援のあり方と フェミニストカウンセリングの役割 井上摩耶子(ウィメンズカウンセリング京都代表)	35名
			(延)287名

(2)「2010フェミニストカウンセリング専門講座：研究コース」

- ①目的 理論コース修了生を対象に、理論コースで学んだ知識を実際の現場でどう活かすかを考える。現場での実際のケースに沿いながら、フェミニストカウンセリングでのとらえ方、アプローチや対応の仕方などについてスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図る。(2グループ設定)
- ②日時 2011年1月22日(土)、2月5日(土)、19日(土) 10:30～16:30
※3日間・計15時間
(Aグループは、受講決定者数が少数のため、2日間・計10時間に変更)
- ③会場 ドーンセンター 中会議室2・3(4F)
- ④対象 ①本講座の理論コースを修了している方(過去5年間)
②相談員・カウンセラー、ケースワーカーなど援助の現場を持っている方
③上記に該当し、原則全回参加できる方
- ⑤参加費 20,000円
- ⑥内容・参加実績 定員：各グループ15名、計30名
申込者数：21名、決定者数：20名、受講者数：20名

	月日	スーパーバイザー	主な対象
A	1月22日(土)	井上摩耶子 (ウィメンズカウンセリング京都代表)	福祉・医療・シェルターなどケースワーク的関わりを必要とする現場を持つ方対象
	2月5日(土)		
	2月19日(土)※中止		
B	1月22日(土)	川喜田好恵 (日本フェミニストカウンセリング協会 代表理事)	女性関連施設・行政・教育機関など公的な機関で相談の現場を持つ方対象
	2月5日(土)		
	2月19日(土)		

4 スーパービジョン講座

【事業概要】

(1) 目的 スーパービジョン (super vision) とは、対人援助にたずさわる者（特に相談援助職）が常に専門家としての資質の向上をめざすための教育方法である。

実際の相談の現場では、さまざまな課題に直面し、「どう対応したらいいのか」「どのように理解したらいいのか」「自分の対応はこれでいいのか」・・・と迷いや悩みが生じる。そのため、臨床に基づいた研修の機会は、よりよい相談を行うためにも、また、援助者が燃え尽きることなく、仕事を継続するためにも不可欠である。

このスーパービジョン講座では、女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援にたずさわる方が、実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。



【事業内容・実績】

(1) 「女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのためのスーパービジョン講座」

- ① 目的 実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。
- ② 日時 2010年7月8日(木)・29日(木)、8月5日(木)・19日(木)
- ③ 場所 ドーンセンター小会議室5(4F)
- ④ スーパーバイザー 杉本志津佳(フェミニストカウンセリング堺カウンセラー)
- ⑤ 対象
 - ① 女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方
 - ② 相談・カウンセリングの現場にジェンダーの視点を取り入れたい方
 - ③ 現在担当している事例があり、資料を提出できる方
- ⑥ 参加費 18,000円
- ⑦ 内容・参加実績 定員：9名、申込者数：7名、参加者数：7名、決定者数：7名

	月日	内容	参加者数
1	7月8日(木)	スーパービジョンについてのガイダンス	6名
2	7月29日(木)	グループ・スーパービジョン①	7名
3	8月5日(木)	グループ・スーパービジョン②	7名
4	8月19日(木)	グループ・スーパービジョン③	7名
			(延)27名

(2)「女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのためのスーパービジョン講座

＜DV被害者支援編＞」

①目的 実際のケースをもとに、暴力被害による心理的影響への理解を深めながら、被害者の心理的・社会的回復に必要なアプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図る。

②日時 2010年11月6日(土)・27日(土)、12月4日(土)

③場所 ドーンセンター小会議室6(4F)

④スーパーバイザー 竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー)

- ⑤対象
- ①DV被害者支援に関わる援助職の方
 - ②相談・カウンセリングの現場にジェンダーの視点を取り入れたい方
 - ③現在担当している事例があり、資料を提出できる方

⑥参加費 13,000円

⑦内容・参加実績 定員：9名、申込者数：6名、参加者数：6名、決定者数：6名

	月日	内容	参加者数
1	11月6日(土)	スーパービジョンについてのガイダンス	6名
2	11月27日(土)	グループ・スーパービジョン①	5名
3	12月4日(土)	グループ・スーパービジョン②	5名
			(延)16名

5 ファシリテーター・スキル育成講座

【事業概要】

- (1) 目的 セルフヘルプ(自助グループ)やサポート・グループ、CRなど、ジェンダー問題に関わるグループを実践・運営するにあたってファシリテーション・スキルを高めたい方を対象に、「グループでの対人援助スキル」「自己覚知と自己表現」「女性のエンパワメントのための関わり」などについて経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、現場での具体的な対応や経験なども共有しながら、援助職としての資質と専門性の向上を図る。また、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性の心身の健康と社会への参画に資する。



【事業内容・実績】

(1) 「女性のエンパワメントのためのグループを実践するファシリテーターのための ファシリテーター・スキル育成講座」

①日 時 2010年11月6日(土)・20日(土)・27日(土)、12月4日(土)
13:30~16:30 ※4日間・計12時間

②場 所 ドーンセンター中会議室2(4F)

③スーパーバイザー 加藤伊都子(フェミニストカウンセリング塚カウンセラー)

④対 象 女性のエンパワメントのためのグループを実践するにあたって、

①ファシリテーション・スキルを高めたい方

②エンパワメントのための視点・技法を身につけたい方

※グループメンバーとしての経験が一定程度以上ある方に限ります。

⑤参加費 20,000円

⑥内容・参加実績 定員:12名、申込者数:14名、決定者数:14名、参加者数:14名

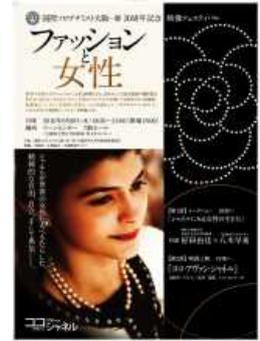
	月 日	内 容	参加者数
1	11月6日(土)	グループ概論～対人援助のグループとは～	13名
2	11月20日(土)	ジェンダーの視点とは～ジェンダーエンパワメントのために～	13名
3	11月27日(土)	ファシリテーターの役割と機能～グループの目的に応じて～	13名
4	12月4日(土)	まとめ～二次被害の防止とファシリテーターの倫理～	14名
			(延)53名

1 国際ソロプチミスト大阪一東20周年記念

映像フェスティバル「ファッションと女性」

【事業概要】

- (1) 目的 シャネルは、当時、大仰な服装により行動範囲が制限され、またコルセットにより窮屈にさせられていた女性を、自分らしく自由な服装の選択肢をもたらすことに尽力した女性である。この服装の自由は、女性に精神的な自由、自立をももたらした。また、コネクションも財力も、頼れる家族もない中、当時の古い慣習や固定的な価値観に対抗しながらも新しい境界に果敢にチャレンジし、彼女自身の意志によって人生を選び取り、世界のファッションに大きな影響を与える存在となった様は、現代女性にとって、一つの大きなロールモデルである。



今年、シャネルがパリにアトリエを開いて100年。実業家、起業家、そして主体的に生き抜いた一人の女性としてのシャネルに焦点を当てたトークショーと上映会を開催する。

- (2) 日時 平成22年9月8日(水) 開場18:00 開演18:30
 (3) 場所 ドーンセンター ホール(7F)
 (4) 参加費 前売券1,000円、当日券1,300円

【事業内容・実績】

(1) 映像フェスティバル「ファッションと女性」

①内容・参加実績 定員：500名、チケット販売：134枚、招待：176名

	内容	参加者数
第1部	トークショー「シャネルにみる女性の生き方」 出演者 好田由佳(堺女子短期大学美容生活文化学科教授) 八木早希(毎日放送アナウンサー)	310名
第2部	映画上映『ココ・アヴァン・シャネル』 <2009年/フランス/110分/監督：アンヌ・フォンテーヌ>	

2 ドーン・シネマクラブ

【事業概要】

- (1) 目的 女性の視点、オルタナティブな視点によって作られた作品等の上映を通して、映像文化の発展をめざす。
- (2) 日時 平成22年5月14日～平成23年2月5日
- (3) 場所 ドーンセンター 視聴覚スタジオ (5F)

【事業内容・実績】

	日時	上映作品等	参加者数
第36回	5月14日(金) ・15日(土)	<p>「未来の食卓」</p> <p>南フランスの小さな村を舞台に、地元の食材を使うオーガニック(有機農法)運動を描く。大量生産、大量消費による農業の効率化・低コスト化に対し、健康・環境問題の視点から疑問を投げかける女性プロデューサー作品。</p> <p><2008年/フランス/112分/監督:ジャン=ポール・ジョー/プロデューサー:ベアトリス・カムラ・ジョー></p> 	118名
第37回	7月2日(金) ・3日(土)	<p>世界を見るシリーズ①カナダ編</p> <p>A「リック・ソルト～僕とばあちゃん」</p> <p>B「AGE IS NO BARRIER」「Learning Peace」(二本立て)</p> <p>就職や自身の生き方に悩む孫息子と認知症が発症した祖母との関係を描く。山形国際ドキュメンタリー映画祭2007インターナショナルコンペティション作品。</p> <p><2006年/カナダ/78分/監督:ライアン・フェルドマン></p> <p>併せて、カナダ国立フィルム省製作で、元気な高齢者を描く「AGE IS NO BARRIER(年なんて関係ない)」<1989年/カナダ/24分/監督:フランシス・ダンバーガー/製作:カナダ国立フィルム省>、いじめに取り組むカナダのある小学校を追った「Learning Peace(平和を学ぶ)」<2001年/カナダ/57分/監督:テレサ・マックインズ/製作:カナダ国立フィルム省>を上映。</p>	95名
第38回	9月3日(金) ・4日(土)	<p>世界を見るシリーズ②イラン編</p> <p>「ペルセポリス—1970～90年代の激動するイランを舞台に監督自身の半生を綴った“少女マルジ”の成長物語—」</p> <p>イラン・イラク戦争の時代に、生きた女の子の経歴・足跡を、監督マルジャン・サトラピが黒白アニメで描く、ほぼ自伝的な作品を上映。</p> <p><2007年/フランス/95分/監督・脚本:マルジャン・サトラピ、ヴァンサン・パロノー></p>	34名

<p>第 39 回</p>	<p>11月12日(金) ・13日(土)</p>	<p>世界を見るシリーズ③NYを舞台に生きる 「母の道、娘の選択」</p> <p>ロイター経済記者でもある我謝京子監督が、自分と同じように日本を飛び出してニューヨークにチャンスを探し、独自のキャリアを築いている女性達に取材したドキュメンタリーを上映。</p> <p><2009年/アメリカ、日本/85分/監督：我謝京子></p> 	<p>55名</p>
<p>第 40 回</p>	<p>2月4日(金) ・5日(土)</p>	<p>「心理学者 原口鶴子の青春 ～100年前のコロンビア大留学生在が伝えたかったこと～</p> <p>約100年前にコロンビア大学に留学し、心理学を学んだ女性・原口鶴子の生涯を追ったドキュメンタリーを上映。</p> <p><2007年/日本/95分/監督：泉悦子></p>	<p>49名</p>

3 第16回女性芸術劇場

【事業概要】

- (1) 目的 女性による文化・表現活動を支援するとともに、女性に対する固定的なイメージや社会意識の変革をめざす舞台芸術作品の公演を行う。

【事業内容・実績】

(1) 第16回女性芸術劇場フォーラム

- ①目的 日頃、舞台芸術等に触れる機会が少ない府民対し、劇場や演劇公演の情報を伝え、その面白さ、楽しさに気づききっかけづくりを行う。「むりやり堺筋線演劇祭」関係者らをはじめ、大阪を中心に活動する演劇関係者らと連携しながら、地域交流をはかり、大阪の演劇文化の活性に努める。
- ②日時 平成22年9月10日(金) 19:00～21:00
- ③参加費 無料
- ④内容・参加実績 定員：100名

	日時	テーマ/講師	参加者数
1	9月10日(金)	第一部 レクチャー「劇場をピクニックしよう」 講師：畑律江(毎日新聞学芸部編集委員) 第二部 「劇場は楽しい」 ・大阪の劇場情報 ・「むりやり堺筋線演劇祭」の取り組み 仕掛け人：福本年雄(ウイングフィールド代表) ・関西演劇人より公演紹介 ・第16回女性芸術劇場のご案内	38名

(2) 第16回女性芸術劇場

- ①目的 厳しい文化予算・環境の中、地元大阪を中心に活躍する女性劇作家によるユニット Saccharin(サッカリン)による2公演。それぞれの劇団の垣根を超え、創造者・表現者が協働しながら、女性の視点による舞台芸術作品の創造をめざす。また、地域の劇場関係者や表現者と連携しながら、大阪府民に演劇のおもしろさや楽しみ方を伝える機会も併せ持つように努める。
- ②日時 平成23年2月17日(木)～平成23年2月23日(水)
- ③参加費 前売券2,000円、当日券2,500円
- ④内容・参加実績



	日時	テーマ/講師	参加者数
1	2月17日(木) ～2月23日(水)	演劇公演「その鉄塔に女たちはいるという」 原作：土田英生(MONO)「その鉄塔に男たちはいるという」 演出：土橋淳志(A級MissingLink)	266名
2	2月17日(木)	演劇公演「そのどこかに男たちはいたという」	170名

	～2月23日(水)	作：サッカリン（遠坂百合子、棚瀬美幸、樋口ミュ、芳崎洋子、 竜崎だいち） 演出：安武剛（トイガーデン）	
			(延) 4 3 6名

1 「ウィメン・パイオニアズ」プロジェクト

【事業概要】

(1) 目的 渡辺晴子氏（HKW代表、社団法人日本外国特派員協会監事）が下記のオリジナル素材を当財団に寄贈くださった。全国の女性関連施設、大学、各専門機関などで活用できるように教材用としてDVD・ブックレット化し、当財団で制作・販売を行っている。

- ①「はじめにー日本婦人の地位 縫田暁子（ぬいたようこ）」
 - ②「高田ユリ（たかだゆり）と消費者保護」
 - ③「市川房枝（いちかわふさえ）と婦人参政権のあゆみ」
 - ④「三淵嘉子（みぶちよしこ）判事と家庭裁判所」
 - ⑤「加藤シズエ（かとうしずえ）と家族計画」
 - ⑥「婦人科学者 阿武喜美子（あんのきみこ）」
 - ⑦「医療ケースワーカー 浅賀ふさ（あさかふさ）」
 - ⑧「放送ジャーナリスト 江上フジ（えがみふじ）」
 - ⑨「山高しげり（やまたかしげり）と母子福祉」
 - ⑩「小説家 野上弥生子（のがみやえこ）」
- （製作：1975～76年）

【事業内容・実績】

(1) DVD「ウィメン・パイオニアズ」制作プロジェクト

- ①目的 全国の女性関連施設や大学等で活用できるよう、関連資料を付加しながら、DVD・ブックレット等を制作する。
- ②実施方法 若手研究者との協働作業
- ③メンバー
 - 荒木 菜穂（神戸大学大学院総合人間科学研究科）
 - 伊藤 良子（大阪府立大学大学院人間社会学研究科）
 - 織田 暁子（京都大学大学院文学研究科）
 - 鈴木 彩加（大阪大学大学院人間科学研究科）
 - 関 めぐみ（大阪府立大学大学院人間社会学研究科）
 - 豊田 真穂（関西大学文学部総合人文学科准教授）
 - 林 葉子（同志社大学人文科学研究所嘱託研究員／池坊短期大学等非常勤講師）
- ④販売開始 平成23年7月（予定）

2 配偶者暴力及び性的暴力被害者支援に係る社会資源調査

【事業概要】

(1) 目的 配偶者暴力や性的暴力の被害を経験したことのある者のうち約6割が、被害をどこにも相談しておらず、多くの被害が潜在化している。被害者が安心して相談できる環境を整備するためには、相談機関が被害者からの相談を受けて、適切な支援先につなげることにより、被害者の心身のケア及び自立支援を切れ目なく円滑に行うことが重要である。

配偶者暴力被害者等は、他県等遠隔地に逃げる必要があるケースも多い。また、性的暴力被害者の支援機関については、まだネットワーク化が図れておらず、どこにどのような支援機関があるのかも整理されていない状況にある。

そのため、被害者にとって必要とされる支援を行う機関（社会資源）の所在地、連絡先、機能等を収集・整理し、リスト化することにより、全国の相談機関及び支援者が、適切に必要な支援機関を把握しつなぐことができるようにし、配偶者暴力被害者及び性的暴力被害者がより安全に安心して支援を受けられる環境整備を行う。

(2) 制作期間 平成22年11月～12月

【事業内容・実績】

(1) 「配偶者暴力及び性的暴力被害者支援に係る社会資源リスト」の作成

①制作期間 平成22年11月～12月

②掲載内容

	大項目	中項目	
1	女性関連	1 男女共同参画センター 2 配偶者暴力相談支援センター 3 市町村配偶者暴力相談窓口 4 婦人相談所 5 婦人保護施設	6 福祉事務所 7 母子生活支援施設 8 配偶者暴力被害者支援民間団体 9 ステップハウス 10 性暴力被害者支援民間団体
2	子ども関連	1 児童相談所・子ども家庭支援センター 2 民間の母子支援団体	
3	保健・こころ関係	1 保健所 2 精神保健福祉センター 3 いのちの電話	4 自殺防止センター 5 カウンセリングルーム等 6 助産師会系列団体
4	警察・司法関係	1 警察相談窓口 2 犯罪被害者ホットライン 3 法テラス	4 弁護士会 5 犯罪被害者支援センター
5	労働関係	1 ハローワーク 2 マザーズハローワーク	3 セクハラ相談窓口 4 労働組合・女性ユニオン
6	その他	1 外国語での相談 2 入国管理局	3 セクシュアルマイノリティ 4 男性相談

1 アフガニスタン国「女性の貧困削減プロジェクト」に係る国別研修

【事業概要】

- (1) 目的 アフガニスタンにおける女性の経済的状況改善のための女性課題省の行政能力強化を目的に、女性課題省他、労働省、農業省等の行政職員を日本に招へいし、日本での取組事例を紹介することにより、他省庁・国家プログラムと連携し、ジェンダー主流化の視点を入れ、慢性的最貧国女性の経済的エンパワメント支援体制の強化を図る。

【事業内容・実績】

(1) アフガニスタン国「女性の貧困削減プロジェクト」に係る国内支援委員会

- ①目的 アフガニスタンの女性支援に関する情報・意見交換及びアフガニスタンの女性の現状、課題を共有する。
- ②日時 平成22年11月26日(金) 17:00～18:30
- ③場所 内閣府男女共同参画局
- ④内容

	月 日	内容
1	11月26日(金)	外務省アフガニスタン支援室長からの報告 JICA 専門員（アフガニスタン女性支援懇談会）からの報告 アフガニスタン研修生からのアフガニスタンの課題報告 同国内支援委員との意見交換会 内閣府男女共同参画局による講義

(2) アフガニスタン国「女性の貧困削減プロジェクト」に係る国別研修

- ①目的 他省庁・国家プログラムと連携し、ジェンダー主流化の視点を入れ、経済的エンパワメントの支援体制を強化する。
- ②期間 平成22年11月29日(月)～12月10日(金)
- ③場所 ドーンセンター、大阪府、大阪府立夕陽丘高等職業技術専門校、大阪府茨木市“見山の郷” 他
- ④参加者 アフガニスタン政府職員10名
- ⑤内容

	月 日	内容（研修テーマ／主な訪問先）
1	11月29日(月)	プログラムオリエンテーション 研修全体の概説、関係者紹介、研修目標の周知 アフガニスタン側からのプレゼンテーション（カントリーレポート）、女性課題省、農業灌漑牧畜省 研修員同士の意見交換、課題の共有
2	11月30日(火)	表敬訪問：大阪府府民文化部長、国際交流監、男女共同参画・NPO課長 ●「大阪府の男女共同参画施策」 講義「大阪府の男女共同参画施策」、質疑応答、意見交換 ●「大阪府の男女共同参画施策事業」

		<p>講義「大阪府の男女共同参画施策の事業実施機関としての理念、府の中核的役割を果たすドーンセンター」「女性のエンパワメントを総合的に支援するプログラム紹介」、質疑応答、意見交換</p> <p>ドーンセンター館内見学</p> <p>ウェルカムパーティ</p>
3	12月1日(水)	<p>●女性の職業訓練</p> <p>大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校における母子家庭等対象事業（経理事務処理、裁縫とリフォームなど）、女性が経済的に自立していくための職業訓練プログラムの視察見学</p> <p>講義「大阪府立夕陽丘高等職業技術専門校のなりたち」</p> <p>●女性への暴力被害者支援</p> <p>講義「大阪府のDV被害者支援体制」</p> <p>●ユニフェム（国連女性開発基金）との交流</p>
4	12月2日(木)	<p>●女性の健康活動</p> <p>講義「母性看護の視点から女性の健康」</p> <p>●女性の経済的エンパワメントのための連携事例</p> <p>「母子家庭のお母さんのためのPC講座と就労支援事業」の視察見学、母子家庭のお母さんとの意見交換など</p>
5	12月3日(金)	<p>●母子の健康</p> <p>講義「貧困の中での母子の健康」</p> <p>●大阪府の各施策担当者との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の経済的エンパワメント課題に取り組む大阪府の担当者との意見交換 ・アフガニスタン国家プロジェクトでジェンダー配慮のプロジェクトについて発表
6	12月4日(土)	中間整理
7	12月6日(月)	<p>●農業振興と女性のエンパワメント</p> <p>講義「大阪府茨木市“見山の郷”地区にみる生活改良普及員の役割とその実践」</p> <p>講義「大阪府茨木市“見山の郷”地区にみる女性の経済的活動、女性の組織化、農産物・加工品販売事業」について</p>
8	12月7日(火)	<p>●民間企業における女性の職業訓練</p> <p>府内唯一知事認定の民間職業訓練校を併設する株式会社イワサキ（繊維縫製事業）の見学、職業訓練プログラムに関する講義</p> <p>●女性の起業支援</p> <p>講義「大阪府における女性の起業家支援」</p> <p>●ものづくり支援</p> <p>講義「大阪府のものづくり支援・中小企業支援政策」</p> <p>クリエイション・コア東大阪（産学連携機関）の視察</p>
9	12月8日(水)	課題整理、ワークショップ
10	12月9日(木)	<p>課題整理、ワークショップ</p> <p>アクションプラン作成</p>
11	12月10日(金)	<p>アクションプラン作成</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>評価会（JICA、ドーンセンター、関係者）</p> <p>閉講式</p>

2 関西アメリカン・センター共催事業

講演会「ダイバーシティ先進国・アメリカに学ぶ」

【事業概要】

- (1) 目的 多様な労働力によって支えられているアメリカの先進事例を聴くことで、女性や高齢者などさまざまな労働力を日本でどのように活かせば、多様な組織、社会を発展させることができるかを考える機会をつくる。



【事業内容・実績】

(1) キャロル・フィッシュマン・コーエンさん講演会

「ダイバーシティ先進国・アメリカに学ぶ ~一人ひとりの可能性」

- ① 目的 アイ・リローンチ社を設立し、さまざまな理由で仕事を中断している人々と大学や企業を結ぶことで、多くの女性の再就職を成功させてきたコンサルタント、キャロル・フィッシュマン・コーエンさんをお招きし、多様な労働力によって支えられているアメリカでの先進事例を聞くことで、女性や高齢者などのさまざまな労働力を日本でどのように活かせば、個人、企業のみならず社会を発展させることができるかを考える。
- ② 日時 平成23年2月9日(水) 14:00~16:00
- ③ 場所 ドーンセンター大会議室2 (5F)
- ④ 対象 行政、女性/男女共同参画センター、企業などの担当者
キャリアコンサルタント、キャリアアドバイザー、再就職を目指す女性など
- ⑤ 参加費 無料
- ⑥ 内容・参加実績 定員: 50名、申込者数: 52名、参加者数: 45名

	月 日	内 容	参加者数
1	2月9日(水)	「ダイバーシティ先進国・アメリカに学ぶ~一人ひとりの可能性」 講師 キャロル・フィッシュマン・コーエン (アイ・リローンチ社共同創業者・再就職コンサルタント) 司会 八木 早希(毎日放送アナウンサー)	45名

1 不妊専門相談センター事業

【事業概要】

- (1) 目的 不妊に悩む人々の身体的・精神的負担の軽減と、出産を望む人々への支援を図るとともに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から女性の心身の健康促進に資する。
- (2) 場所 ドーンセンター相談室・会議室

【事業内容・実績】

(1) 不妊にまつわる電話相談

- ①目的 不妊にまつわるさまざまな相談（治療について知りたい、パートナーや家族との関係を相談したい等）を専門の相談員が受けるとともに、必要な情報提供を行う。
- ②日時 毎週水曜日 10:00～16:00 ※第5週、祝日・年末年始を除く
第4土曜日 13:00～16:00 ※4月、8月、12月を除く
- ③相談員 助産師（第4土曜日は産婦人科医師も同席）
- ④相談件数
<月別主訴件数>

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	(%)
情報提供	3	7	6	4	3	5	6	7	4	9	15	10	79	24.6%
不妊への不安・検査や治療を受けたほうがよいか	7	0	3	3	4	4	4	3	4	4	2	2	40	12.5%
今の治療の内容と妊娠の可能性	5	1	3	2	1	4	2	2	3	2	5	4	34	10.6%
他の治療内容・方法など	1	0	0	0	2	0	1	0	1	1	1	1	8	2.5%
二人目不妊	1	1	3	3	1	3	3	4	3	1	6	2	31	9.7%
医療機関に対する不満	0	2	0	4	0	0	5	2	1	1	0	2	17	5.3%
パートナーとの関係	3	1	1	4	2	4	2	2	2	1	1	0	23	7.2%
周囲の人間関係	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	5	1.6%
自分自身のこと	0	2	4	1	2	1	0	1	0	1	2	0	14	4.4%
子どものいない人生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
仕事との両立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	6	2	6	8	6	4	9	2	1	10	8	7	69	21.5%
合計	27	16	26	30	22	26	33	23	19	30	41	28	321	100.0%

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	対前年比
平成22年度	27	16	26	30	22	26	33	23	19	30	0	0	252	155.8%
平成21年度	0	0	0	22	29	44	16	31	11	10	24	19	206	

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	14	21	9	17	10	9	31	15	5	15	16	12	146

(2) サポート・グループⅠ「不妊のこと、話し合ってみませんか」

- ①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②日程 前期：5月～7月 第2・4火曜日
後期：9月～11月 第1・3火曜日
- ③場所 ドーンセンター 和室（4F）
- ④ファシリテーター 金美江（助産師）、田中佳織（助産師）
- ⑤内容・参加者数



＜前期＞ 定員：15名、申込者数：8名、参加者数：6名

	月 日	テーマ	参加者数
1	5月11日(火)	自己紹介/ルール確認/各々の今の思い・悩みを話し合う	5名
2	5月25日(火)	状況の報告/治療と仕事・やりたいことの両立について	6名
3	6月8日(火)	友人・親戚など周囲とのつきあい方/子どものいない人生	4名
4	6月22日(火)	周囲とのつきあい方/子どものいない人生/夫婦のコミュニケーション	4名
5	7月13日(火)	Dr.への思いの伝え方/身内との関わり方/夫婦関係について	3名
			(延)22名

＜後期＞ 定員：15名、申込者数：7名、参加者数：3名

	月 日	テーマ	参加者数
6	9月7日(火)	自己紹介/ルール確認/人工授精・治療形態・費用・確立について	2名
7	10月5日(火)	体外受精について/義父母の期待とプレッシャー・周囲との関係について	3名
8	10月19日(火)	思い描いていた人生と子どものいない人生/セックスレスについて	2名
9	11月2日(火)	治療の進展状況/ボディワーク「ビジョンヨガ」	2名
10	11月16日(火)	治療の進展状況/子どもがいてもいなくても幸せになること	2名
			(延)11名

(3) サポート・グループⅡ（テーマ別グループ）

- ①目的 不妊・流産にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②日程 5月～7月、9月～11月、1月～3月 第4土曜日
- ③場所 ドーンセンター 和室（4F）
- ④内容・参加者数

＜テーマ①＞「不育・習慣流産の体験を、話し合ってみませんか」

ファシリテーター 古谷ミチヨ（助産師）、内田和枝（助産師）

定員：15名、申込者数：4名、参加者数：2名

	月 日	テーマ	参加者数
1	5月22日(土)	流産の体験とこれからの生き方	1名
2	6月26日(土)	流産の体験とこれからの生き方	1名
3	7月24日(土)	今後の運営について	0名
			(延)2名

<テーマ②> 「二人目以降の不妊について、話し合ってみませんか」(全3回)

ファシリテーター 内田和枝(助産師)、矢野恵子(助産師)

定員: 15名、申込者数: 7名、参加者数: 6名

	月 日	テーマ	参加者数
1	9月25日(土)	自己紹介/子どもを預けての治療/医療以外の対処法/体外受精	4名
2	10月23日(土)	近況報告/もやもやした気持ち・治療への不安/リラクゼーション	3名
3	7月24日(土)	新参加者紹介/体外受精・不育症/夫婦のコミュニケーション	6名
			(延) 13名

<テーマ③> 「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか」(全3回)

ファシリテーター 内田和枝(助産師)、古谷ミチヨ(助産師)

定員: 15名、申込者数: 18名、参加者数: 14名

	月 日	テーマ	参加者数
1	1月22日(土)	自己紹介/ルール確認/アイスブレイク「今どんな気持ち?」/ グループトーク	14名
2	2月26日(土)	子どもが生まれたら幸せ?/老後のこと・将来のこと	11名
3	3月26日(土)	なぜ子どもがほしいのか/まとめ・感想/アンケート記入	11名
			(延) 36名

(4) ホームページ (<http://www.ogef.jp/funin-osaka>) の管理・運営

- ①目的 インターネットを活用して、不妊に悩む人々に役立つ情報を発信するとともに、不妊専門相談センター事業を広くPRする。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	1,100	1,126	1,251	1,287	1,224	1,268	1,530	1,015	809	761	733	868	12,972
H21年度					1,080	1,777	1,376	1,586	1,384	1,414	976	1,100	11,192

※平成21年8月21日公開

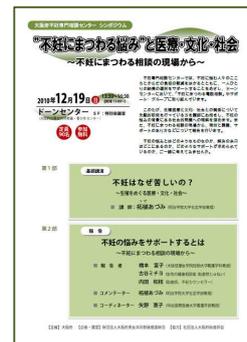
(5) 不妊関連情報フェアの開催

- ①目的 不妊に悩む人々に役立つ情報を提供するため、不妊関連事業の開催にあわせて、各種資料を選定・収集し、関連情報コーナーを設置。
- ②日時 平成22年10月～12月
- ③その他 展示資料リストを作成・印刷し、講座・セミナー等で無料配布した。

(6) 不妊専門相談センターシンポジウム

「不妊にまつわる悩み」と医療・文化・社会～不妊にまつわる相談の現場から～

- ①目的 不妊専門相談センターでは、不妊に悩む人々の身体的・精神的負担の軽減と、女性の心身の健康に資することをめざし、「不妊にまつわる電話相談」や「サポート・グループ」を実施している。このたび、相談の現場で蓄積した不妊の悩みの背景にある社会的課題について報告することで、事業成果を社会に還元するとともに、不妊や不妊治療をめぐる課題を広く発信することを目的にシンポジウムを開催する。
- ②日時 平成22年12月19日(日) 13:30～16:30
- ③場所 ドーンセンター 特別会議室(5F)
- ④対象 テーマに関心のある方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：90名、申込者数：64名、参加者数：51名



テーマ	
第1部	基調講演「不妊はなぜ苦しいの?～生殖をめぐる医療・文化・社会～」 講師 柘植あづみ(明治学院大学社会学部教授)
第2部	報告「不妊の悩みをサポートするとは～不妊にまつわる相談の現場から～」 報告者 橋本 富子(大阪信愛女学院短期大学看護学科教授) 古谷ミチヨ(女性の健康相談室 助産院じゅねい) 内田 和枝(助産師、不妊カウンセラー) コメンテーター 柘植あづみ(明治学院大学社会学部教授) コーディネーター 矢野 恵子(明治国際医療大学看護学部教授)

(7) 関係者の研修・連絡会議の開催

- ①目的 不妊専門相談センター事業の円滑な運営のための研修・情報交換を行なうとともに、課題やニーズを共有し、プログラムに反映させる。
- ②時期 年2回程度
- ③内容・出席者数
- <第1回>
- ・日時：2010年12月4日(土) 9:30～12:00
 - ・場所：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター) 3F会議室
 - ・出席：社団法人大阪府助産師会 4名
財団法人大阪府男女共同参画推進財団 1名
 - ・議題：「不妊専門相談センターシンポジウム：第2部」の打合せ
不妊専門相談センターシンポジウムの第2部において、「不妊にまつわる電話相談」及び「サポート・グループ」の現場からの報告を行うにあたり、打合せを実施する。また、共有した情報や課題を今後の運営に生かす。

1 夏期インターンシップ・プログラム

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的に、大学・大学院生をインターンシップ生として受け入れる。

【事業内容・実績】

- ①受入期間 平成22年8月24日(火)～9月10日(金)

②実習生

	学部・学科・学年	実習生数
1	関西学院大学人間福祉学部 社会起業学科 3年	1名
2	早稲田大学大学院政治学研究科 ジャーナリズムコース 修士1年	1名
3	大阪府立大学大学院人間社会学研究科 修士1年	1名
4	近畿大学法学部 政策法学科 3年	2名
5	神戸学院大学人文学部 人間心理学科 3年	1名
6	神戸学院大学人文学部 人文学科 3年	1名
7	神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程	1名
		計8名

③特別講義「ライブセミナー：ドーンセンターの仕事」

目的Ⅰ：ドーンセンターの現場からみえる現代社会を知る

目的Ⅱ：ドーンセンターでの仕事を知るとともに、さまざまな職員のキャリア・仕事観にふれる

	月日	テーマ/担当
1	8月24日(火)	「ドーンセンターの概要」 阿部 茜 (企画推進グループ ディレクター)
2	8月24日(火)	「利用促進の仕事について」 山本麗子 (共同体ジェネラルマネージャー)
3	8月24日(火)	「接遇研修」 山名玲子 (企画推進グループ 事業担当スタッフ)
4	8月24日(火)	「財団・共同体の概要」 金光哲司 (事務局長)
5	8月25日(水)	「企画推進グループの仕事①」 仁科あゆ美 (企画推進グループ シニアディレクター)
6	8月26日(木)	「男女共同参画についての日欧比較/フリートーク」 ローラ・デールズ (大阪大学大学院人間科学研究科外国人招へい研究員、 西オーストラリア大学アジア研究学部准教授)
7	8月31日(火)	「企画推進グループの仕事②」 木下みゆき (企画推進グループ 統括ディレクター)
8	9月9日(木)	「いまなぜ男女共同参画か～財団運営を通して考える」 時岡禎一郎 (理事長)

④日常業務体験、講座・イベント運営

目的Ⅰ：事業運営の裏側を知る

目的Ⅱ：小さな仕事を責任をもってやり遂げる経験をする

	業務名	詳細
1	「ウィメン・パイオニアズ」プロジェクト業務	作品視聴／情報リサーチ／台本のデータ化
2	ホームページ更新業務	講座・イベント登録／掲載資料のデータ化
3	映像フェスティバル「ファッションと女性」関連業務	当日に向けた準備／当日運営／アンケート集計
4	ドーンセンター情報ライブラリー業務	休室日作業／ライブラリー運営補助
5	「ドーン・シネマクラブ」関連業務	広報作業／当日準備・運営補助／アンケート集計
6	「2010 フェミニストカウンセリング専門講座」関連業務	当日運営補助

2 研修・実習・職場体験等の受入れ

【事業概要】

- (1) 目的 若い世代を対象とした研修や職場体験の実習先としてプログラムを提供することで、次世代のキャリア形成に資する。

【事業内容・実績】

(1) 大阪府立学校新任教員研修の受入

- ①目的 大阪府教育センターが実施する、府立学校新任教員の社会体験実習の実習先として研修プログラムを提供する。

②受入高校・人数

	日時	所属	実習生数
1	7月27日(火)・28日(水)	大阪府立淀川工科高校	3名
		大阪府立芦間高校	1名
2	8月10日(火)・11日(水)	大阪府立豊中高校	4名
			計8名

(2) 大阪府若者サポートステーション職場体験の受入れ

- ①目的 就労自立への意欲を持ちながら、社会参加や就職活動に向かうことにためらいを覚えて行動ができにくい若者をボランティアとして受入れ、「一般の人と触れる」練習や「他者や社会の役に立つこと」を実感し、人生の視野を広げるきっかけとする。

- ②受入期間・人数 平成22年4月27日(火)～30日(金)：1名
平成22年11月30日(火)～12月3日(金)：3名

(3) 同志社大学図書館司書課程実習生の受入れ

- ①目的 司書資格取得に必要な図書館実習を行う。
- ②受入期間 平成22年11月25日(火)～12月10日(金)
- ③実習生数 2名
- ④実習内容 ドーンセンター情報ライブラリー業務(蔵書点検/ミーティング参加/カウンター業務/資料の分類/資料装備/資料配架/製本対象雑誌の抽出)
はなみずきキャリア塾Ⅱ運営補助

(4) 大阪市立助産師学院「助産学実習」の受入れ

- ①目的 助産師として仕事をする上で求められる男女共同参画関連知識を取得する。
- ②日時 平成22年12月21日(火) 13:00～17:00
- ③実習生数 学生20名、教員2名
- ④実習内容 男女共同参画関連問題についての講義
情報ライブラリーにおける情報活用 等

1 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売

日本で未公開の海外女性監督ドキュメンタリー作品等を独自に収集、日本語に翻訳加工して販売する。

※平成22年度、研修資料としてニーズの高い「恋人からの暴力」及び「不適切な行動」をDVD化して販売した。



<販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	恋人からの暴力～死にいたる愛～ (DVD)	1999	12,000	10
2	不適切な行動：高校生間のセクシュアル・ハラスメント (DVD)	1997	15,000	6

	作品名	制作年	価格	販売数
1	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD)	2004	5,000	1
	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD) 上映権付		10,000	6
2	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD)	2006	5,000	1
	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD) 上映権付		10,000	3
3	稟愛（ピンアイ）～三峡ダム建設に挑む農民の闘い～ (DVD)	2007	5,000	3
4	Labor Women～アメリカ社会を変える 働くアジア女性の闘い～ (DVD)	2003	5,000	6
5	お母さん（UMMA）～お母さんを探して～ (DVD)	2005	18,000	1
6	心の旅路～わたしの家族の物語～ (VHS)	2003	15,000	0
7	壺～イスラム社会を生きる女たち～ (VHS)	2005	8,000	0
8	韓国発 映画をつくる女たち (VHS)	2001	18,000	2
9	家族プロジェクト：父の家 (VHS)	2002	18,000	0
10	医師クローデットの場合～アフリカの大地で～ (VHS)	2001	18,000	2
11	自分らしく生きる～やわらかい家族のかたち～ (VHS)	2001	10,000	2
12	響き合うところ～歌に生き 仲間と生きる～ (VHS)	2001	15,000	0
13	ドラッグの恐怖～むしばまれる若者たち～ (VHS)	2000	15,000	1
14	恋人からの暴力～死にいたる愛～ (VHS)	1999	12,000	1
15	ウォッチングTV (VHS)	1994	5,000	1
16	わたしの心はわたしの証～イスラム女性のドキュメント～ (VHS)	1996	18,000	1
17	戦場のレイプ (VHS)	1996	18,000	3
18	不適切な行動：高校生間のセクシュアル・ハラスメント (VHS)	1997	15,000	1
19	子どもの権利（中高生編）(VHS)	1998	12,000	0
				計51

2 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売

(1) オリジナルビデオ&DVDの販売

独自の調査研究、主催講座に基づいて企画・制作したオリジナルビデオを販売した。

<販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年(日本語版・DVD)	2005	5,000	4
2	働く女性の60年(日本語版・VHS)	2005	5,000	1
3	働く女性の60年(英語字幕版・VHS)	2005	5,000	0
4	3歳児神話をこえて Part1 岩堂美智子(VHS)	1999	4,500	1
5	3歳児神話をこえて Part2 村本 邦子(VHS)	1999	4,500	0
6	3歳児神話をこえて Part3 赤松 彰子(VHS)	1999	4,500	0
7	3歳児神話をこえて Part4 村田 和子(VHS)	1999	4,500	1
8	3歳児神話をこえて Part5 汐見 稔幸(VHS)	1999	4,500	1
9	3歳児神話をこえて 全5巻セット(VHS)	1999	20,000	4セット(20)
10	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 1 竹中恵美子(VHS)	1998	5,000	0
11	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 2 佐々木静子(VHS)	1998	5,000	0
12	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 3 岡部伊都子(VHS)	1998	5,000	0
13	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 4 大川恵美子(VHS)	1998	5,000	0
14	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 5 豊後レイコ(VHS)	1998	5,000	0
15	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 6 横井和子(VHS)	1998	5,000	0
16	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 7 桂 信子(VHS)	1998	5,000	0
17	大阪おんな自分流:扉を開けた8人の肖像 8 飯田しづえ(VHS)	1998	5,000	0
				計28

(2) ドーン・ハンドブック等の販売

当財団が実施してきた事業のノウハウを盛り込んだハンドブック及び、当財団の主催講座「ライブセミナー～女性と仕事～」をもとに企画・制作した単行本を販売した。

<ドーン・ハンドブック販売実績>

	ハンドブック名	発行年	価格	販売数
1	Dawn Hand Book① 女性のための相談事業ハンドブック	1999	600	29
2	Dawn Hand Book② 女性情報とライブラリー活動	1999	600	3
3	Dawn Hand Book③ メディア・リテラシーとジェンダー	2000	600	14
4	Dawn Hand Book④ 女性のグループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック	2001	600	7
5	Dawn Hand Book⑤ 人と情報を結ぶ 情報相談ハンドブック	2001	600	7
6	Dawn Hand Book⑥ 相談現場から見える現代社会と女性センターの役割	2006	800	34
				計94

<単行本販売実績>

	書籍名	発行年	価格	販売数
1	『仕事論～先輩に聞く、女性と就職～』	2006	1,365	20

1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託

【事業概要】

- (1) 目的 主催者の要請により当財団職員を講師として派遣するほか、委員委嘱等を受けることを通じて、男女共同参画社会の推進に資する。

【事業内容・実績】

(1) 講師派遣

<講師派遣実績>

	月 日	内容・テーマ	主催者
1	4月13日(火)	清交社定例午餐講演会 「女性を活かさぬ社会は滅びる」	社団法人清交社
2	6月1日(火)	平成22年度新任課長級研修 「男女共同参画職場づくり」	大阪府
3	6月10日(木)	女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーの ための男女共同参画推進研修 女性関連施設管理職コース 「予算制約下での組織の基盤強化」	独立行政法人国立女性教育会館
4	6月24日(木) 8月5日(木) 10月2日(土)	ニュースで読み解く現代社会 「メディアが描く『女と男』 ～ニュースの裏を読む～」	東大阪市立男女共同参画センター・イコーラム
5	6月28日(月) ～8月5日(木)	司書講習科目「図書及び図書館史」	桃山学院大学
6	7月9日(木)	男女共同参画セミナー 「男女共同参画の基本の『き』」	泉佐野市
7	7月10日(金)	男女共同参画社会づくり支援講座 活動をブラッシュアップ	特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
8	7月15日(木) ・16日(金)	女性のキャリア形成支援推進研修 ワーク・ライフ・バランスコース	独立行政法人国立女性教育会館
9	7月27日(火)	第1回三重県チャレンジサポーター研修・全体 会議「地域における女性のチャレンジ支援～ド ーンセンターの事業から見えてくること～」	三重県
10	10月13日(水)	市町担当職員等エンパワーメント講座 ワークショップ「地域の課題解決事業を企画・ 立案する」	滋賀県立男女共同参画センター
11	10月21日(木)	第50回泉州地域男女共同参画行政担当者連 絡会議「市民との協働～ともに企画・実施・運 営するために～」	泉州地域男女共同参画行政担当者 連絡会議

12	10月28日(木)	市町担当職員等エンパワーメント講座 ワークショップ「地域の課題解決事業を企画・立案する」	滋賀県立男女共同参画センター
13	12月22日(水)	男女共同参画推進講座リーダー養成コース行政関係者講座「ニーズに合った企画・運営と効果的な広報の仕方(1)(2)」	福井県生活学習館
14	1月27日(木)	男女共同参画社会づくりシンポジウム「大阪府における新たな男女共同参画社会づくりのあり方」	大阪府
15	1月28日(金)	男女共同参画ゲストティーチャー事業「男女共同参画の基本の『き』」	泉佐野市
16	2月25日(金)	第7回レファレンス協同データベース事業フォーラム コメンテーター	国立国会図書館
17	3月2日(水)	福岡県内男女共同参画センター連絡会議(啓発・情報部会)「男女共同参画センターの“原点”にたちかえる！」	男女共同参画センター・糸島市
18	3月9日(水)	男女共同参画社会の実現に向けた男女共同参画センター等の管理者等との情報交換会「男女共同参画センターの運営と今後の方向性について」	内閣府

(2) 委員等応嘱

<委員等実績>

	月日	内容	主催者
1	5月～ 委嘱日より2年	守口市男女共同参画審議会委員	守口市
2	5月～ 23年3月31日	平成22年度「女性情報レファレンス事例集」サポートメンバー	独立行政法人国立女性教育会館
3	6月～ 23年3月31日	平成22年度「男女共同参画拠点としての女性関連施設に関する調査研究」研究協力委員	独立行政法人国立女性教育会館
4	7月～ 23年6月30日	レファレンス協同データベース事業の企画協力員	国立国会図書館
5	7月～ 23年1月	大阪弁護士会人権賞選考委員会委員	大阪弁護士会
6	21年8月～ 25年1月	アフガニスタン国女性の貧困削減プロジェクトにかかる国内支援委員会委員	独立行政法人国際協力機構

(3) 大学の講義受託

<同志社大学>

	月 日	テーマ
1	4月 ～23年3月	同志社大学社会学部教育文化学科「情報資料論」

<大阪女学院大学・短期大学>

	月 日	テーマ
1	10月28日(木)	2010年度人権教育講座「メディアによる被害者たち」
2	・29日(金)	2010年度人権教育講座「女性に対する暴力～セクハラ・DV・痴漢～」

1 共催事業・後援事業

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現のために企画された事業で、当財団が共催することにより、啓発効果や事業効果の発展が期待できる事業について共催する。また、男女共同参画社会の実現のための積極的に寄与する事業について、後援を行う。

【事業内容・実績】

(1) 共催事業

<内容・参加実績>

	月日	内容	主催者	参加者数
1	4月9日(金) ～8月20日(金)	“未知の私”と出会いのWORK ～私らしく自信をもって生きるために～ 於：ドーンセンター大・中会議室	こころの相談室WOMAN	(延) 140名
2	4月17日(土) ～3月19日(土)	女性が生きる 経済が生きる 「わたしの政経塾」2010 於：ドーンセンター大会議室	「わたしの政経塾」企画委員会	(延) 580名
3	5月21日(金)～ 2011年4月22日(金)	セミナー「竹中恵美子に学ぶ ～労働・社会政策・ジェンダー～」 於：ドーンセンター大会議室	セミナー「竹中恵美子に学ぶ～労働・社会政策・ジェンダー」企画委員会	(延) 600名
4	7月31日(土)	世界女性会議・北京から15年 ～女性たちはいま・・・～ 於：ドーンセンター特別会議室	世界女性会議ネットワーク関西／大阪府立大学女性学研究センター	97名
5	10月1日(金) ・2日(土)	「ここにおるんじゃけえ」上映会 於：ドーンセンター視聴覚スタジオ	映像発信てれれ	102名
6	10月16日(土)	働く女性のネットワーク「よこの会」公開イベント 自分らしさが美しい～自信を引き出す2つのアプローチ 於：ドーンセンター特別会議室	働く女性のネットワーク よこの会	43名
7	11月13日(土)	「スターペアレンティング 講演会&ワークショップ」 於：ドーンセンター特別会議室	NPO法人女性と子どものエンパワメント関西	40名
8	11月21日(日) ～23日(火)	デートDV電話相談「彼との関係で悩む女の子・女性のための無料電話相談」 於：心のサポート・ステーション	NPO法人心のサポート・ステーション	相談員9名 相談件数 7件
9	2011年3月12日(土)	「わたらしい仕事と子育てヒントを見つけよう」 於：ドーンセンター中・小会議室	NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター	18名

(2) 後援事業

<内容・参加実績>

	月 日	内 容	主催者	参加者数
1	4月10日(土) 5月14日(金) 6月12日(土)	女たちの太平洋戦争 手記を読む会 於：ドーンセンター情報ライブラリー	おはなしくじら	100名
2	6月15日(火) ～17日(木)	大藪順子写真展&講演会 「立ち上がる選択:被害者から学ぶ性暴力 の実態と被害後の生き方」 於：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 学術情報センター	大阪府立大学女性学研究 センター	講演会 79名 写真展 292名
3	6月24日(木) ～26日(土)	介護保険ホットライン2010・関西 於：ドーンセンター中会議室	高齢社会をよくする女性 の会・大阪	ボランティ アスタッフ 104名 相談件数 75件
3	6月19日(土)	日本女性学会大会シンポジウム 「社会を動かす女性学」 於：ドーンセンター パフォーマンススペース	日本女性学会	150名
4	8月10日(火)	女たちの太平洋戦争 手記を読む会 於：ドーンセンター情報ライブラリー	おはなしくじら	大人43名 子ども 18名

2 ポスタープリントサービス

【事業概要】

(1) 目的 NPO・団体等の活動支援の一環で、効果的な広報・PRのために、PDFデータを拡大するサービスを行う。

【事業内容・実績】

①販売開始日 平成22年6月1日

<販売実績>

		価格	販売数
1	フォト半光沢紙(B2)	2,000	2
2	厚口コート紙(A1)	2,000	1
3	厚口コート紙(B2)	1,500	1
4	プレミアム普通紙(A1)	500	47
5	プレミアム普通紙(B1)	400	9
6	プレミアム普通紙(A2)	300	19
	合 計		79



1 配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業

【事業概要】

- (1) 目的 平成21年度の配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談件数は7万件を超え、被害が深刻であることが明らかになっている。一方で内閣府調査によると、男女とも約7割という多数の者が、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知らず、また被害経験がある者の6割超はどこにも相談しておらず、被害が潜在化している可能性が高い。また、内閣府調査によると、異性から無理やりに性交された経験がある20歳以上の女性は7.3%、そのうち被害をどこ(だれ)にも相談していない者は62.6%に上っており、性暴力の被害についても潜在化している可能性が高い。こうした現状を踏まえ、配偶者暴力と性暴力被害者に対する24時間対応の電話相談事業を緊急かつ集中的に実施し、潜在化している被害者に相談を促すとともに、必要に応じて相談者が確実に支援窓口につながるよう関係機関への相談に付き添うことにより、継続的支援に結び付ける。
- なお、今回の事業結果を踏まえ、配偶者暴力と性暴力の被害者に対する支援のあり方、特に性暴力の被害者支援については配偶者暴力の被害者支援を比較して体制が整っていないことも考慮しつつ、その支援のあり方について検討し、相談対応や相談後の継続支援の充実強化を図っていく。

【事業内容・実績】

(1) 電話相談責任者等研修・電話相談員研修の実施

- ①目的 電話相談責任者及び付添支援責任者に対して、電話相談責任者の役割等に関する研修を実施するとともに、電話相談員に対して、本事業における電話相談のありかた、配偶者暴力と性暴力の対応の相違点、危機介入等に関し、研修を実施した。
- ②日時 平成23年1月18日(火)～19日(水)
- ③場所 女性と仕事の未来館
- ④内容・参加者数 責任者等研修：90名、
相談員研修：196名(1日目)、194名(2日目)

<電話相談責任者等研修>

	内容
1	主催者挨拶／事業概要説明 講師 内閣府
2	電話相談責任者、付添支援責任者の役割 講師 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

<電話相談員研修>

	内容
1	主催者挨拶／事業概要説明 講師 内閣府／財団法人大阪府男女共同参画推進財団
2	電話相談対応の手順 講師 近藤恵子(シェルターネット共同代表)

3	急性期の性暴力被害相談への対応 講師 平川和子（女性の安全と健康のための支援教育センター理事）
4	産婦人科における性暴力被害者支援：性暴力被害の身体的影響 講師 北田衣代（医師）
5	性暴力被害による影響Ⅱ（心理的影響） 講師 川喜田好恵（日本フェミニストカウンセリング協会代表理事）
6	被害者支援に必要な法律的事項 講師 望月晶子（弁護士）
7	付き添い支援対応の手順と留意点 講師 近藤恵子（シェルターネット共同代表）／山岸素子（カラカサン代表）
8	分科会

（２）「パープルダイヤル—性暴力・DV電話相談—」の運営

- ①目的 配偶者暴力と性暴力被害者に対する24時間対応の電話相談事業を緊急かつ集中的に実施し、相談窓口を多くの人に周知するとともに潜在化している被害者に相談を促す。また、必要に応じて相談者が確実に支援窓口につながるよう関係機関への相談に付き添うことにより、継続的支援に結び付ける。
- ②期間 平成23年2月8日（火）～3月27日（日） ※日曜・祝日を含む
- ③場所 全国各地の相談拠点
- ④相談の種類と体制
- ＜電話相談＞
- ア 急性期の性暴力被害女性相談 24時間
 - イ 女性相談 24時間
 - ウ 男性相談 月～金：午前11時～午後11時（12時間）
土日祝：正午～午後11時（11時間）
 - エ 外国人相談 午前9時～午後9時（12時間）
- ※英語、タガログ語、タイ語、中国語、韓国語、スペイン語の6言語に対応
- ＜来所相談＞ 急性期の性暴力被害女性については、相談者本人が希望する場合には、来所相談を行いリファー先に引継ぎを行った。
- ＜付添支援＞ 電話を受けた相談員が、配偶者暴力相談支援センターが行う一時保護や市町村などが行う緊急時の安全の確保が必要となる可能性がある判断した場合において、相談者が希望する場合は、電話相談員から付添支援責任者に相談内容等について連絡し、対応を依頼する。付添支援員は、連絡のあった連絡方法で相談者に連絡をとり、付き添い方について確認した上で、付き添い支援を行う。
- ＜スーパービジョン＞ 相談者へのよりよい支援の提供及び相談員のバーンアウトを防ぐことを目的に、相談員が困難な事例に遭遇した場合などにスーパービジョンを実施できるよう体制を整備した。

⑤拠点・相談員数

急性期性暴力		女性相談		男性相談		外国人相談		付添支援	
拠点数	相談員数	拠点数	相談員数	拠点数	相談員数	拠点数	相談員数	拠点数	支援員数
2	100	42	491	2	41	1	46	65	403

⑥相談実績

< 電話相談実績 >

- ア 総呼数 61,329件 ※パープルダイヤルへのアクセス件数
 イ 着信呼数 37,791件 ※相談回線への着信件数
 ウ 受理件数 20,462件 ※各拠点で受理・対応件数

	相談回線	受理件数
1	急性期の性暴力被害女性相談	2,216件
2	女性相談	15,454件
3	男性相談	1,814件
4	外国人相談	978件
	合計	20,462件

< 来所相談実績 > 7件

< 付添支援実績 > 55件

< スーパービジョン > 296件

1 ドーンセンターの概要

(1) 運営の基本理念と目的（平成16年3月改定）

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための総合的な支援施設としての役割を果たしていくことを目的とする。

(2) 沿革

ドーンセンターの建設計画は、各界の専門家や女性団体、グループの方々など幅広い府民の参画を得て進められた。センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催して、府民の方々とともに検討し、方針が決められた。

ドーンセンターの施設管理・事業運営については、大阪府からの委託を受けて、財団法人大阪府男女共同参画推進財団がその全てを担ってきたが、平成18年4月、ハード部門（利用促進・施設管理）に指定管理者制度が導入された。これに伴い、ハード部門は財団とNPO法人による事業共同体が指定管理者として運営を受託（5年契約）、ソフト部門（事業）は従来通り財団が受託した。

平成21年度には、大阪府によって多機能化が図られて、青少年を加えた施設名称に変更、また、府女性相談センターが転入した。

昭和61年度	4月	「21世紀をめざす大阪府女性プラン」策定（昭和61年度～平成2年度）
	9月	建設予定地（元大手前会館跡地）を決定
	1月	第1回婦人団体、グループアンケート実施
昭和62年度	6月	基本構想公表
	1月	第2回婦人団体、グループアンケート実施
昭和63年度	9月	婦人総合センター（仮称）推進会議の設置 （平成3年7月、ドーンセンター推進会議に改称）
	12月	クリエイティブフォーラム開催 府政モニターアンケート調査実施
	1月	元大手前会館撤去完了
平成元年度		基本設計、文化財発掘調査（第1期）
平成2年度		実施設計、文化財発掘調査（第2期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	2月	愛称「ドーンセンター」に決定
平成3年度	9月	「女と男のジャンププラン」策定（平成3年度～12年度まで） 文化財発掘調査（第3期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	3月	建設工事着工（工期28か月）
平成4年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
	1月	シンボルマーク決定
平成5年度	11月	イベント「女性映像フォーラム」開催
平成6年度	11月	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館

平成13年度	大阪府における「NPOとの協働モデル施設」に位置付け 3月 ウェルネスのフロア（地下1階）の廃止
平成14年度	4月 休館日を水曜日から月曜日に変更 10月 NPO協働フロア（地下1階）のリニューアルオープン
平成16年度	11月 開館10周年記念行事開催
平成18年度	4月 ハード部門に指定管理者制度導入 「NPOとの協働モデル施設」「女性のチャレンジ支援のための拠点施設」に位置付け（「改定おおさか男女共同参画プラン」） 11月 ソウル女性プラザ（韓国）と友好協約締結
平成19年度	9月 情報ライブラリー（2階）開室時間変更
平成20年度	8月 情報ライブラリー（2階）開室日・開室時間変更
平成21年度	4月 大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更 10月 大阪府女性相談センター転入（3階）

（3）建物概要

①所在地	大阪市中央区大手前1丁目3番49号
②敷地面積	3,170㎡
③構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
④階数	地上10階地下1階
⑤高さ	52m
⑥建築面積	1,971㎡
⑦延床面積	12,761㎡
⑧立体駐車場	92台

（4）運営 事業：財団法人大阪府男女共同参画推進財団
利用促進・施設管理：ドーン利用促進事業共同体

（5）歴代館長 津村 明子 平成6年4月～平成9年12月
上田 忍 平成10年1月～平成13年3月
竹中 恵美子 平成13年4月～平成19年6月
清野 博子 平成19年7月～平成22年3月
※平成22年4月、館長職廃止

（6）利用について

①開館時間	9：15～21：30
②利用時間	9：30～21：30
③休館日	毎週月曜日、祝日及び振替休日（ただし、その日が土・日曜日の場合は開館し、翌週火曜日が休館。またその日が月曜日の場合は、翌火曜日も休館）、年末年始
④ホール・会議室等の利用申込	
ア 予約・受付	9：30～20：00
イ 抽選会日時	<ホール、パフォーマンススペース> 12ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：14：00～14：30

<会議室等>

3ヶ月前の第1水曜日(※) 受付：9：30～10：00

※第1水曜日が休館日の場合は、次の平日開館日に行く。1月に限っては
1月5日に行い、1月5日が休館日に当たる場合は翌日に行く。

ウ 電話・窓口受付 抽選会翌日の9：30から先着順で受け付け

⑤こどものへや

定期保育 毎週木曜日 9：30～12：30

対 象：1歳以上就学前まで

保育料：1時間につき500円

定 員：6名程度

⑥サポート・カウンセリングルーム

ア 問い合わせ・予約受付 火～金曜日 13：30～18：00
18：45～21：00

土・日曜日 9：30～13：00
13：45～18：00

イ 女性の悩み電話相談 火～金曜日 17：00～20：00
土・日曜日 10：00～16：00

ウ 女性のための面接相談 火～金曜日 17：00～21：00
土・日曜日 10：00～18：00

⑦情報ライブラリー

ア 開室時間 火・水・木・土曜日 9：30～17：30

(貸出、情報相談は17：20まで)

金曜日 9：30～20：00 (貸出、情報相談は19：50まで)

イ 休室日 休館日、日曜日、毎月最終火曜日(火曜日が休館の場合は、翌日の水曜日)
及び特別資料整理期間

⑧駐車場(タワーパーキング)

9：15～21：45

最初の1時間 400円(以降30分ごとに200円)

普通車のみ(車高・車幅等制限あり。車高1m55cm 車幅1m80cm 車長5m30cm)

※障害者手帳等の提示により、料金を免除

2 ドーン利用促進事業共同体の概要

(1) 設立目的

ドーンセンターの利用促進・施設管理部門への指定管理者制度導入に際し、財団とNPOとによる事業共同体として指定管理者に名乗りをあげ、財団がもつ11年の経験とノウハウ、NPOが持つ高いミッション（使命）と利用サイドに立った柔軟できめ細かい発想を生かす。これにより、指定管理者制度の趣旨である利用者サービスの向上と施設の効率的運用の両立を図り、大阪府における男女共同参画社会づくりの拠点施設であるドーンセンターの事業を継続発展させる。

(2) 構成員

○ 名称 財団法人大阪府男女共同参画推進財団
代表者 理事長 時岡禎一郎
住所 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

○ 名称 特定非営利活動法人ZUTTO
代表者 理事長 津田 優子
住所 大阪市中央区平野町2丁目6番-1号

※共同体代表者は、財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事長

(3) 指定管理者指定年月日

平成18年3月28日

(4) 指定期間

平成18年4月1日～平成23年3月31日（5年間）

(5) 共同体の事務所

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

(6) 主要事業

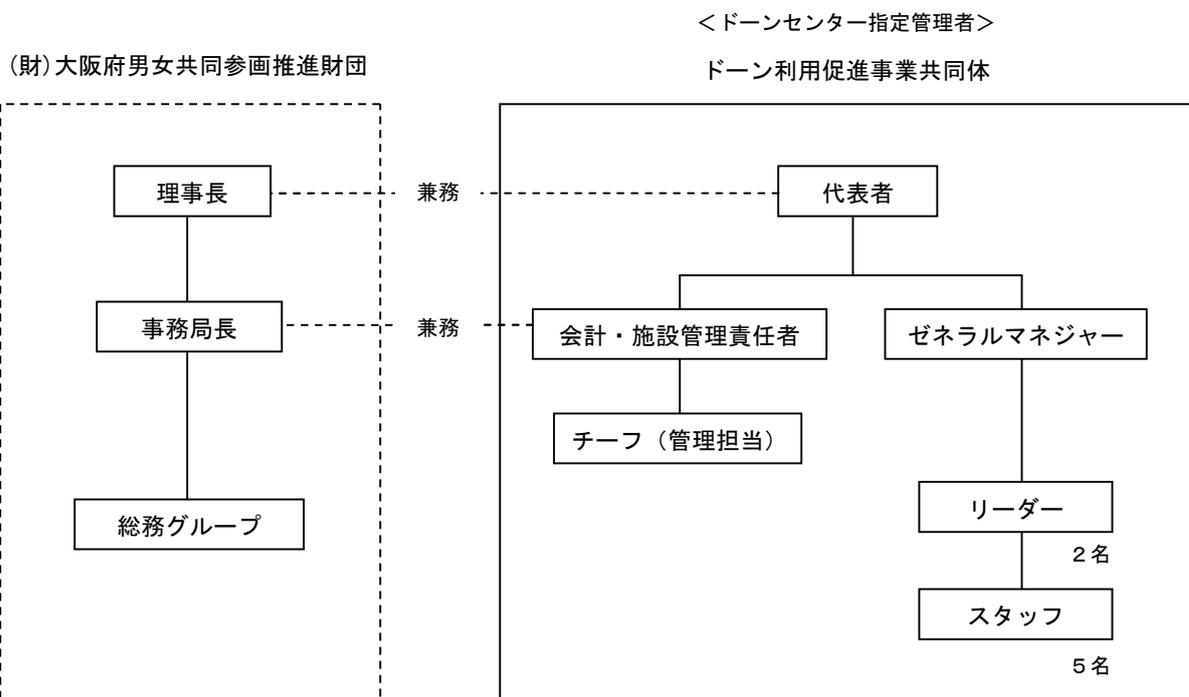
- (1) ホール・会議室等の利用受付及び使用料の徴収業務
- (2) 施設、設備等の維持管理業務（日常清掃業務を除く）
- (3) 一時保育事業

(7) 共同体のあゆみ

- | | | |
|----|----------|-----------------------------|
| 平成 | 17.12.1 | 共同体結成指定管理者に応募 |
| 同 | 17.12.27 | 指定管理者最優先交渉権者に選定 |
| 同 | 18.3.28 | 大阪府から指定管理者に指定 |
| 同 | 18.3.28 | 大阪府立女性総合センターの管理運営業務等基本協定を締結 |
| 同 | 18.4.1 | 業務開始 |
| 同 | 18.12.20 | 第1回構成員総会開催 |

- 同 19. 3. 15 第2回構成員総会開催
- 同 19. 6. 19 第3回構成員総会開催
- 同 20. 1. 20 第4回構成員総会開催
- 同 20. 3. 11 第5回構成員総会開催
- 同 20. 6. 17 第6回構成員総会開催
- 同 21. 3. 17 第7回構成員総会開催
- 同 21. 6. 9 第8回構成員総会開催
- 同 22. 3. 9 第9回構成員総会開催
- 同 22. 6. 8 第10回構成員総会開催
- 同 23. 2. 29 第11回構成員総会開催

(8) 組織体制



3 指定管理業務

大阪府から指定管理者として指定されたドーンセンターの管理運営を行うとともに、府民にホールや会議室の貸出を行った。

(1) 来館者数

(単位：人)

	会議室等	ホール等	ライブラー	視 察	その他	合 計	1日平均
4月	15,609	8,738	2,215	0	907	27,469	(25日) 1,099
5月	13,921	8,100	1,839	0	1,073	24,933	(23日) 1,084
6月	16,242	11,450	2,247	0	1,046	30,985	(26日) 1,192
7月	16,500	10,289	2,777	15	1,044	30,625	(26日) 1,178
8月	12,981	9,250	2,581	0	742	25,554	(26日) 983
9月	14,083	8,030	2,092	0	1,167	25,372	(24日) 1,057
10月	16,184	10,550	2,226	0	1,199	30,159	(26日) 1,160
11月	15,411	9,915	2,041	17	903	28,287	(23日) 1,230
12月	12,089	9,925	2,029	22	983	25,048	(23日) 1,089
1月	12,839	9,010	1,718	0	774	24,341	(23日) 1,058
2月	16,274	9,660	2,104	0	1,387	29,425	(23日) 1,279
3月	16,588	8,610	2,498	0	922	28,618	(25日) 1,145
22年度計	178,721	113,527	26,367	54	12,147	330,816	(291日) 1,129
21年度計	175,829	118,995	23,250	136	13,799	332,009	(291日) 1,141

(2) 会議室・ホール等の貸出

男女の自立と対等な参加・参画に基づく男女共同参画社会の実現、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的をもって行う学習活動等の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸出した。

①会議室・ホール等の利用状況

<会議室等の利用率>

	会議室等 (%)				ホール (%)	パフォーマンス・スペース (%)	合計 (%)
	会議室	和室	調理室等	小計			
4月	69.7	36.7	40.3	59.1	53.3	50.7	58.4
5月	67.3	50.7	41.2	59.1	47.8	42.0	48.6
6月	64.1	40.4	44.4	56.8	64.1	51.3	49.8
7月	63.5	40.4	51.8	58.3	59.0	39.7	55.1
8月	54.1	27.6	38.2	47.5	60.3	46.2	50.8
9月	63.2	30.6	40.3	54.2	43.1	48.6	62.3
10月	64.7	41.0	42.1	56.7	53.8	60.3	55.8
11月	68.5	47.1	44.3	60.3	62.3	63.8	60.1
12月	58.0	32.6	40.9	51.2	63.8	47.8	52.2
1月	62.8	35.5	30.4	52.0	49.3	36.2	53.4
2月	70.9	60.1	45.2	63.4	56.5	60.9	63.0
3月	66.9	42.3	36.9	56.9	65.2	53.8	56.8
21年度計	64.4	40.2	41.4	56.2	62.4 ※85.9	50.1 ※67.7	56.2
21年度計	63.5	45.4	42.7	56.5	59.0	43.5	56.0

※はホール、パフォーマンススペースを1日1団体により算出した利用率

<利用目的別比率>

種別	目的内利用 (%)					一般利用 (%)
	男女共同参画				青少年	
	財団主催講座等	登録団体	その他	合計		
会議室等	6.6	27.0	12.8	46.5	6.3	47.2
ホール	4.3	9.3	5.9	19.5	17.2	63.3
パフォーマンススペース	7.0	11.8	14.7	33.5	2.7	63.8
22年度計	6.4	25.6	12.6	44.6	6.7	48.7
21年度計	3.6	27.2	16.4	47.2	4.0	48.8

<曜日別、時間帯別利用率>

種 別		午 前 (%) (9:30~12:00)	午 後 (%) (13:00~17:00)	夜 間 (%) (18:00~21:30)	計 (%)
会議室等	平日	44.0	69.7	43.4	52.3
	土曜	75.3	92.4	42.6	70.1
	日曜	63.7	91.7	15.8	57.1
	小計	52.8	77.4	38.5	56.2
ホール	平日	50.3	64.0	27.5	47.3
	土曜	82.4	94.1	47.1	74.5
	日曜	86.3	94.1	39.2	73.2
	小計	62.2	74.6	33.0	56.6
パフォーマンススペース	平日	38.5	42.2	43.8	41.5
	土曜	70.6	84.3	45.1	66.7
	日曜	94.1	96.1	7.8	66.0
	小計	53.7	58.8	37.8	50.1
合 計	平日	44.0	68.2	42.7	51.6
	土曜	75.4	92.1	43.0	70.1
	日曜	66.1	92.0	16.5	58.2
	小計	53.3	76.4	38.2	56.0

②駐車場の利用状況

当センター利用者の方の利便性を高めるため、普通車92台を収容できる立体駐車場を完備しており、平成22年度11,929台の利用があった。また、障害者の方は、利用料金を免除しており、372台の利用があった。

<駐車場利用状況>

区分	駐車台数		一日平均	
		内減免数		日数
4月	1,163	31	47	25
5月	766	23	33	23
6月	1,299	35	50	26
7月	1,061	34	41	26
8月	921	29	35	26
9月	887	38	37	24
10月	1,076	38	41	26
11月	1,097	26	48	23
12月	772	24	34	23
1月	848	27	37	23
2月	1,108	38	48	23
3月	931	29	36	26
22年度計	11,929	372	41	294
21年度計	12,406	291	43	291

(3) グループ活動の支援等

ドーンセンターを定期的にご利用するグループの活動支援と利用の促進及び交流を図るため、次のとおり施設の提供等を行った。

①グループロッカーの設置

グループが学習等の活動を行うために必要な物品を保管するとともに、グループ相互の情報交換場所として、センター内にグループロッカールームを設け、貸出を行った。

<利用団体数> 105 団体・グループ（登録団体：85、一般団体：20）

②メールボックスの設置

各団体の活動に関する情報交換のための資料等郵便物の配達を受けるため、平成14年11月より、センター内にメールボックスを設け、貸出を行った。

<利用団体数> 16 団体・グループ

③ワークステーション等の運営

ワークステーションに印刷機等の機器類を設置し、団体・グループ等の自主的な活動のために必要ならし・資料等の印刷やコピー、木工作業等の軽作業を行うことができる無料のスペースを提供した。

<設置機器> 印刷機、コピー機、紙折機、裁断機、製本機、木工電動工具

<利用状況>

	利用者数（人）	印刷機利用団体数	FAX、メール（PC） サービス件数
4月	156	116	19
5月	150	115	21
6月	159	112	19
7月	146	82	10
8月	115	80	22
9月	137	99	9
10月	175	127	9
11月	131	96	12
12月	106	82	6
1月	116	85	5
2月	126	87	8
3月	166	116	10
22年度計	1,683	1,197	150
21年度計	2,222	1,199	190

④情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報の交換が行えるよう、1階の情報交換プラザにおいてグループ・団体、行政機関等のちらしやパンフレット等を配布した。

	府庁関係	国・他府県	市町村	他の女性センター	自主グループ	合計
22年度	289	298	708	771	1,559	3,625
21年度	427	134	963	589	1,414	3,527

4 一時保育事業

子育て中の人々の社会参加を促進・支援することを目的として、ドーンセンターの主催事業への参加者や情報ライブラリー等の利用者を対象に「こどものへや」を設置し、一時保育事業をドーン利用促進事業共同体の委託事業として実施した。

運営にあたっては、民間の保育運営手法を取り入れ、より一層の事業効果を高めるため、公募プロポーザルによって選定したNPO法人関西子ども文化協会との協働（委託）により事業の活性化に努めた。

(1) 実施内容

① 定期保育

情報ライブラリー等のセンター利用者を対象として、平成22年4月から平成23年3月まで毎週木曜日 午前（但し7月、12月は午後も実施）に実施した。

<保育時間> 9:30~12:30 13:30~16:30

② 「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体・グループが保育を実施する場合に、「こどものへや」の貸出を行った。

③ 保育協力者 29名（平成22年4月1日現在）

(2) 「こどものへや」の利用状況

	定期保育			貸出件数 ②	合 計 ①+②
	開催日数①	子供数	保育協力者数		
4月	2	9	4	8	10
5月	0	0	0	9	9
6月	1	3	2	9	10
7月	8	25	18	16	24
8月	0	0	0	10	10
9月	1	0	1	8	9
10月	2	2	4	6	8
11月	0	0	0	8	8
12月	6	48	24	18	24
1月	3	7	6	8	11
2月	2	2	4	9	11
3月	3	14	13	12	15
22年度計	28	110	76	121	149
21年度計	24	88	64	140	164

1 ドーンセンターの概要

(1) 運営の基本理念と目的（平成16年3月改定）

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための総合的な支援施設としての役割を果たしていくことを目的とする。

(2) 沿革

ドーンセンターの建設計画は、各界の専門家や女性団体、グループの方々など幅広い府民の参画を得て進められた。センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催して、府民の方々とともに検討し、方針が決められた。

ドーンセンターの施設管理・事業運営については、大阪府からの委託を受けて、財団法人大阪府男女共同参画推進財団がその全てを担ってきたが、平成18年4月、ハード部門（利用促進・施設管理）に指定管理者制度が導入された。これに伴い、ハード部門は財団とNPO法人による事業共同体が指定管理者として運営を受託（5年契約）、ソフト部門（事業）は従来通り財団が受託した。

平成21年度には、大阪府によって多機能化が図られて、青少年を加えた施設名称に変更、また、府女性相談センターが転入した。

昭和61年度	4月	「21世紀をめざす大阪府女性プラン」策定（昭和61年度～平成2年度）
	9月	建設予定地（元大手前会館跡地）を決定
	1月	第1回婦人団体、グループアンケート実施
昭和62年度	6月	基本構想公表
	1月	第2回婦人団体、グループアンケート実施
昭和63年度	9月	婦人総合センター（仮称）推進会議の設置 （平成3年7月、ドーンセンター推進会議に改称）
	12月	クリエイティブフォーラム開催 府政モニターアンケート調査実施
	1月	元大手前会館撤去完了
平成元年度		基本設計、文化財発掘調査（第1期）
平成2年度		実施設計、文化財発掘調査（第2期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	2月	愛称「ドーンセンター」に決定
平成3年度	9月	「女と男のジャンププラン」策定（平成3年度～12年度まで） 文化財発掘調査（第3期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	3月	建設工事着工（工期28か月）
平成4年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
	1月	シンボルマーク決定
平成5年度	11月	イベント「女性映像フォーラム」開催
平成6年度	11月	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館

平成13年度	大阪府における「NPOとの協働モデル施設」に位置付け 3月 ウェルネスのフロア（地下1階）の廃止
平成14年度	4月 休館日を水曜日から月曜日に変更 10月 NPO協働フロア（地下1階）のリニューアルオープン
平成16年度	11月 開館10周年記念行事開催
平成18年度	4月 ハード部門に指定管理者制度導入 「NPOとの協働モデル施設」「女性のチャレンジ支援のための拠点施設」に位置付け（「改定おおさか男女共同参画プラン」） 11月 ソウル女性プラザ（韓国）と友好協約締結
平成19年度	9月 情報ライブラリー（2階）開室時間変更
平成20年度	8月 情報ライブラリー（2階）開室日・開室時間変更
平成21年度	4月 大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更 10月 大阪府女性相談センター転入（3階）

（3）建物概要

①所在地	大阪市中央区大手前1丁目3番49号
②敷地面積	3,170㎡
③構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
④階数	地上10階地下1階
⑤高さ	52m
⑥建築面積	1,971㎡
⑦延床面積	12,761㎡
⑧立体駐車場	92台

（4）運営 事業：財団法人大阪府男女共同参画推進財団
利用促進・施設管理：ドーン利用促進事業共同体

（5）歴代館長 津村 明子 平成6年4月～平成9年12月
上田 忍 平成10年1月～平成13年3月
竹中 恵美子 平成13年4月～平成19年6月
清野 博子 平成19年7月～平成22年3月
※平成22年4月、館長職廃止

（6）利用について

①開館時間	9：15～21：30
②利用時間	9：30～21：30
③休館日	毎週月曜日、祝日及び振替休日（ただし、その日が土・日曜日の場合は開館し、翌週火曜日が休館。またその日が月曜日の場合は、翌火曜日も休館）、年末年始
④ホール・会議室等の利用申込	
ア 予約・受付	9：30～20：00
イ 抽選会日時	<ホール、パフォーマンススペース> 12ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：14：00～14：30

<会議室等>

3ヶ月前の第1水曜日(※) 受付：9：30～10：00

※第1水曜日が休館日の場合は、次の平日開館日に行く。1月に限っては
1月5日に行い、1月5日が休館日に当たる場合は翌日に行く。

ウ 電話・窓口受付 抽選会翌日の9：30から先着順で受け付け

⑤こどものへや

定期保育 毎週木曜日 9：30～12：30

対 象：1歳以上就学前まで

保育料：1時間につき500円

定 員：6名程度

⑥サポート・カウンセリングルーム

ア 問い合わせ・予約受付 火～金曜日 13：30～18：00
18：45～21：00

土・日曜日 9：30～13：00
13：45～18：00

イ 女性の悩み電話相談 火～金曜日 17：00～20：00
土・日曜日 10：00～16：00

ウ 女性のための面接相談 火～金曜日 17：00～21：00
土・日曜日 10：00～18：00

⑦情報ライブラリー

ア 開室時間 火・水・木・土曜日 9：30～17：30

(貸出、情報相談は17：20まで)

金曜日 9：30～20：00 (貸出、情報相談は19：50まで)

イ 休室日 休館日、日曜日、毎月最終火曜日(火曜日が休館の場合は、翌日の水曜日)
及び特別資料整理期間

⑧駐車場(タワーパーキング)

9：15～21：45

最初の1時間 400円(以降30分ごとに200円)

普通車のみ(車高・車幅等制限あり。車高1m55cm 車幅1m80cm 車長5m30cm)

※障害者手帳等の提示により、料金を免除

2 ドーン利用促進事業共同体の概要

(1) 設立目的

ドーンセンターの利用促進・施設管理部門への指定管理者制度導入に際し、財団とNPOとによる事業共同体として指定管理者に名乗りをあげ、財団がもつ11年の経験とノウハウ、NPOが持つ高いミッション（使命）と利用サイドに立った柔軟できめ細かい発想を生かす。これにより、指定管理者制度の趣旨である利用者サービスの向上と施設の効率的運用の両立を図り、大阪府における男女共同参画社会づくりの拠点施設であるドーンセンターの事業を継続発展させる。

(2) 構成員

○ 名称 財団法人大阪府男女共同参画推進財団
代表者 理事長 時岡禎一郎
住所 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

○ 名称 特定非営利活動法人ZUTTO
代表者 理事長 津田 優子
住所 大阪市中央区平野丁2丁目6番-1号

※共同体代表者は、財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事長

(3) 指定管理者指定年月日

平成18年3月28日

(4) 指定期間

平成18年4月1日～平成23年3月31日（5年間）

(5) 共同体の事務所

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

(6) 主要事業

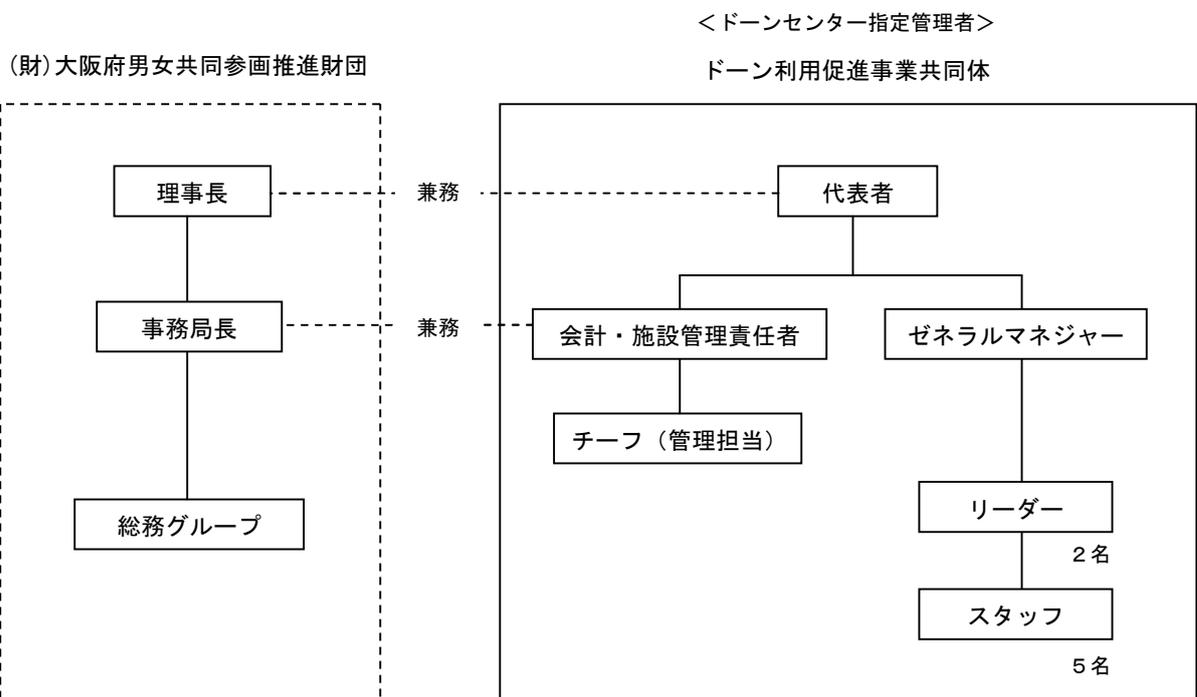
- (1) ホール・会議室等の利用受付及び使用料の徴収業務
- (2) 施設、設備等の維持管理業務（日常清掃業務を除く）
- (3) 一時保育事業

(7) 共同体のあゆみ

- | | | |
|----|----------|-----------------------------|
| 平成 | 17.12.1 | 共同体結成指定管理者に応募 |
| 同 | 17.12.27 | 指定管理者最優先交渉権者に選定 |
| 同 | 18.3.28 | 大阪府から指定管理者に指定 |
| 同 | 18.3.28 | 大阪府立女性総合センターの管理運営業務等基本協定を締結 |
| 同 | 18.4.1 | 業務開始 |
| 同 | 18.12.20 | 第1回構成員総会開催 |

- 同 19. 3. 15 第2回構成員総会開催
- 同 19. 6. 19 第3回構成員総会開催
- 同 20. 1. 20 第4回構成員総会開催
- 同 20. 3. 11 第5回構成員総会開催
- 同 20. 6. 17 第6回構成員総会開催
- 同 21. 3. 17 第7回構成員総会開催
- 同 21. 6. 9 第8回構成員総会開催
- 同 22. 3. 9 第9回構成員総会開催
- 同 22. 6. 8 第10回構成員総会開催
- 同 23. 2. 29 第11回構成員総会開催

(8) 組織体制



3 指定管理業務

大阪府から指定管理者として指定されたドーンセンターの管理運営を行うとともに、府民にホールや会議室の貸出を行った。

(1) 来館者数

(単位：人)

	会議室等	ホール等	ライブラバー	視 察	その他	合 計	1日平均
4月	15,609	8,738	2,215	0	907	27,469	(25日) 1,099
5月	13,921	8,100	1,839	0	1,073	24,933	(23日) 1,84
6月	16,242	11,450	2,247	0	1,046	30,985	(26日) 1,192
7月	16,500	10,289	2,777	15	1,044	30,625	(26日) 1,178
8月	12,981	9,250	2,581	0	742	25,554	(26日) 983
9月	14,083	8,030	2,092	0	1,167	25,372	(24日) 1,057
10月	16,184	10,550	2,226	0	1,199	30,159	(26日) 1,160
11月	15,411	9,915	2,041	17	903	28,287	(23日) 1,230
12月	12,089	9,925	2,029	22	983	25,048	(23日) 1,089
1月	12,839	9,010	1,718	0	774	24,341	(23日) 1,058
2月	16,274	9,660	2,104	0	1,387	29,425	(23日) 1,279
3月	16,588	8,610	2,498	0	922	28,618	(25日) 1,145
22年度計	178,721	113,527	26,367	54	12,147	330,816	(291日) 1,129
21年度計	175,829	118,995	23,250	136	13,799	332,009	(291日) 1,141

(2) 会議室・ホール等の貸出

男女の自立と対等な参加・参画に基づく男女共同参画社会の実現、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的をもって行う学習活動等の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸出した。

①会議室・ホール等の利用状況

<会議室等の利用率>

	会 議 室 等 (%)				ホール (%)	パフォーマンス・ スペース (%)	合計 (%)
	会議室	和 室	調理室等	小 計			
4月	69.7	36.7	40.3	59.1	53.3	50.7	58.4
5月	67.3	50.7	41.2	59.1	47.8	42.0	48.6
6月	64.1	40.4	44.4	56.8	64.1	51.3	49.8
7月	63.5	40.4	51.8	58.3	59.0	39.7	55.1
8月	54.1	27.6	38.2	47.5	60.3	46.2	50.8
9月	63.2	30.6	40.3	54.2	43.1	48.6	62.3
10月	64.7	41.0	42.1	56.7	53.8	60.3	55.8
11月	68.5	47.1	44.3	60.3	62.3	63.8	60.1
12月	58.0	32.6	40.9	51.2	63.8	47.8	52.2
1月	62.8	35.5	30.4	52.0	49.3	36.2	53.4
2月	70.9	60.1	45.2	63.4	56.5	60.9	63.0
3月	66.9	42.3	36.9	56.9	65.2	53.8	56.8
21年度計	64.4	40.2	41.4	56.2	62.4 ※85.9	50.1 ※67.7	56.2
21年度計	63.5	45.4	42.7	56.5	59.0	43.5	56.0

※はホール、パフォーマンススペースを1日1団体により算出した利用率

<利用目的別比率>

種 別	目 的 内 利 用 (%)					一般利用 (%)
	男女共同参画				青少年	
	財団主催講座等	登録団体	その他	合 計		
会議室等	6.6	27.0	12.8	46.5	6.3	47.2
ホール	4.3	9.3	5.9	19.5	17.2	63.3
パフォーマンス・スペース	7.0	11.8	14.7	33.5	2.7	63.8
22年度計	6.4	25.6	12.6	44.6	6.7	48.7
21年度計	3.6	27.2	16.4	47.2	4.0	48.8

<曜日別、時間帯別利用率>

種 別		午 前 (%) (9:30~12:00)	午 後 (%) (13:00~17:00)	夜 間 (%) (18:00~21:30)	計 (%)
会議室等	平日	44.0	69.7	43.4	52.3
	土曜	75.3	92.4	42.6	70.1
	日曜	63.7	91.7	15.8	57.1
	小計	52.8	77.4	38.5	56.2
ホール	平日	50.3	64.0	27.5	47.3
	土曜	82.4	94.1	47.1	74.5
	日曜	86.3	94.1	39.2	73.2
	小計	62.2	74.6	33.0	56.6
パフォーマンススペース	平日	38.5	42.2	43.8	41.5
	土曜	70.6	84.3	45.1	66.7
	日曜	94.1	96.1	7.8	66.0
	小計	53.7	58.8	37.8	50.1
合 計	平日	44.0	68.2	42.7	51.6
	土曜	75.4	92.1	43.0	70.1
	日曜	66.1	92.0	16.5	58.2
	小計	53.3	76.4	38.2	56.0

②駐車場の利用状況

当センター利用者の方の利便性を高めるため、普通車92台を収容できる立体駐車場を完備しており、平成22年度11,929台の利用があった。また、障害者の方は、利用料金を免除しており、372台の利用があった。

<駐車場利用状況>

区分	駐車台数		一日平均	
		内減免数		日数
4月	1,163	31	47	25
5月	766	23	33	23
6月	1,299	35	50	26
7月	1,061	34	41	26
8月	921	29	35	26
9月	887	38	37	24
10月	1,076	38	41	26
11月	1,097	26	48	23
12月	772	24	34	23
1月	848	27	37	23
2月	1,108	38	48	23
3月	931	29	36	26
22年度計	11,929	372	41	294
21年度計	12,406	291	43	291

(3) グループ活動の支援等

ドーンセンターを定期的にご利用するグループの活動支援と利用の促進及び交流を図るため、次のとおり施設の提供等を行った。

①グループロッカーの設置

グループが学習等の活動を行うために必要な物品を保管するとともに、グループ相互の情報交換場所として、センター内にグループロッカールームを設け、貸出を行った。

<利用団体数> 105団体・グループ（登録団体：85、一般団体：20）

②メールボックスの設置

各団体の活動に関する情報交換のための資料等郵便物の配達を受けるため、平成14年11月より、センター内にメールボックスを設け、貸出を行った。

<利用団体数> 16団体・グループ

③ワークステーション等の運営

ワークステーションに印刷機等の機器類を設置し、団体・グループ等の自主的な活動のために必要ならし・資料等の印刷やコピー、木工作業等の軽作業を行うことができる無料のスペースを提供した。

<設置機器> 印刷機、コピー機、紙折機、裁断機、製本機、木工電動工具

<利用状況>

	利用者数（人）	印刷機利用団体数	FAX、メール（PC）サービス件数
4月	156	116	19
5月	150	115	21
6月	159	112	19
7月	146	82	10
8月	115	80	22
9月	137	99	9
10月	175	127	9
11月	131	96	12
12月	106	82	6
1月	116	85	5
2月	126	87	8
3月	166	116	10
22年度計	1,683	1,197	150
21年度計	2,222	1,199	190

④情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報の交換が行えるよう、1階の情報交換プラザにおいてグループ・団体、行政機関等のちらしやパンフレット等を配布した。

	府庁関係	国・他府県	市町村	他の女性センター	自主グループ	合計
22年度	289	298	708	771	1,559	3,625
21年度	427	134	963	589	1,414	3,527

4 一時保育事業

子育て中の人々の社会参加を促進・支援することを目的として、ドーンセンターの主催事業への参加者や情報ライブラリー等の利用者を対象に「こどものへや」を設置し、一時保育事業をドーン利用促進事業共同体の委託事業として実施した。

運営にあたっては、民間の保育運営手法を取り入れ、より一層の事業効果を高めるため、公募プロポーザルによって選定したNPO法人関西子ども文化協会との協働（委託）により事業の活性化に努めた。

(1) 実施内容

①定期保育

情報ライブラリー等のセンター利用者を対象として、平成22年4月から平成23年3月まで毎週木曜日 午前（但し7月、12月は午後も実施）に実施した。

<保育時間> 9:30~12:30 13:30~16:30

②「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体・グループが保育を実施する場合に、「こどものへや」の貸出を行った。

③ 保育協力者 29名（平成22年4月1日現在）

(2) 「こどものへや」の利用状況

	定期保育			貸出件数 ②	合 計 ①+②
	開催日数①	子供数	保育協力者数		
4月	2	9	4	8	10
5月	0	0	0	9	9
6月	1	3	2	9	10
7月	8	25	18	16	24
8月	0	0	0	10	10
9月	1	0	1	8	9
10月	2	2	4	6	8
11月	0	0	0	8	8
12月	6	48	24	18	24
1月	3	7	6	8	11
2月	2	2	4	9	11
3月	3	14	13	12	15
22年度計	28	110	76	121	149
21年度計	24	88	64	140	164

平成22年度 事業実施一覧

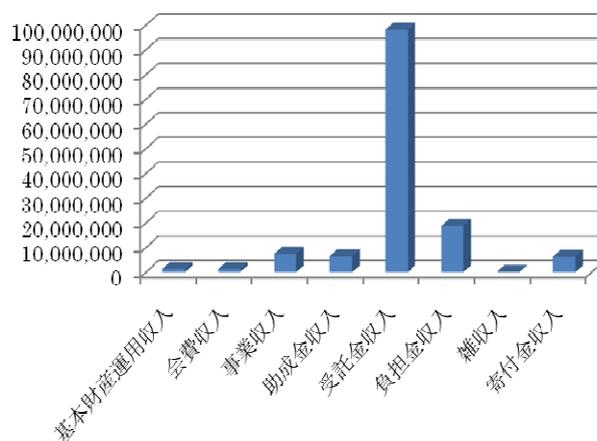
事業区分	連携・協働相手	会計区分	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 大阪府男女共同参画推進事業	大阪府(府民文化部)受託事業	情報事業	1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業 (ドーンセンター情報ライブラリーの運営)	火～土	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		相談事業 暴力対策事業	2 女性の抱える問題に関する相談事業 (ドーンセンターサポート・カウンセリングルームの運営/カウンセラー派遣)	火～日	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		啓発学習事業	3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業 (市町村行政職員等研修/学校関係者研修/企業研修 他)	20コマ	ドーンセンター		20,27	3,10,17					30	6,18,20			3	19
2 女性のキャリア形成支援事業 (女性の能力開発・ネットワーク事業)	在日米国商工会議所 (ACGJ)関西支部助成事業	能力開発事業	1 働く女性の仕事塾「はなみずきキャリア塾Ⅱ」	月1回	ドーンセンター	24	22	26	24		25	23	27	25	22	26	26	
	駐大阪・神戸米総領事館 助成事業	能力開発事業	2 はなみずきキャリア塾:ポッドキャストプロジェクト	6月以降	財団ホーム ページ			22	27	24	28	26	23	28	25	22	22	
	はなみずき基金事業	能力開発事業	3 はなみずきキャリア塾:特別編 (クッキングセラピー編/働く女性のパソコン講座編/リラクゼーション・ボディワーク編)	8回	ドーンセンター				17,31			1,8,14		1,8,15				
3 経済的に困難な女性のための 就労支援事業 (女性の能力開発・ネットワーク事業)	独法)雇用・能力開発機構受託事業	能力開発事業	1 母子家庭の母等を対象とした職業訓練(パソコン実務科)	1ヶ月×2コース	ドーンセンター				1～29					1～25				
	マイクロソフト株式会社助成事業	能力開発事業	2 働きづらさに悩む若い女性のためのパソコン講座事業	2週間×2コース	ドーンセンター							1～26	4～30					
4 女性に対する暴力対策等人材 養成支援事業	内閣府受託事業	広報事業	1 若年DV予防啓発指導者研修	2回	ドーンセンター							7,8						
	独法)国立女性教育会館 (NVEC)共催事業	広報事業	2 配偶者からの暴力被害者支援基礎セミナーin大阪	1回	ドーンセンター				23									
	賛助会費充当事業	相談事業	3 2010フェミニストカウンセリング専門講座	理論8回 研究6回	ドーンセンター						25	9,23,30			22	5,19		
	自主事業	相談事業	4 スーパービジョン講座	4コマ×2回	ドーンセンター				8,29	5,19			6,27	4,11				
	自主事業	相談事業	5 ファシリテーション・スキル育成講座	4コマ	ドーンセンター								6,13,27	4				
5 文化表現事業	「国際ソロプチミスト大阪一 東」共催事業	共催事業	1 映像フェスティバル「ファッションと女性」	1回	ドーンセンター						8							
	はなみずき基金事業	文化表現事業	2 ドーン・シネマクラブ	6回	ドーンセンター		14,15		2,3		3,4		12,13			4,5		
	財)地域創造助成事業	文化表現事業	3 第16回女性芸術劇場	1フォーラム 2公演	ドーンセンター						10					17～23		
6 調査研究事業	自主事業	広報事業	1 「ウィメン・パイオニアズ」プロジェクト	8月中旬～	ドーンセンター					○	○	○	○	○	○	○	○	
	内閣府受託事業	広報事業	2 配偶者暴力及び性的暴力被害者支援に係る社会資源調査	11～12月	ドーンセンター								○	○				
7 国際協力事業	独法)国際協力機構(JICA) 受託事業	国際交流事業	1 アフガニスタン国「女性の貧困削減プロジェクト」に係る国別研修	11～12月	ドーンセンター 他									11/26,29～12/10				
8 女性の健康支援事業	大阪府(健康医療部)受託事業	不妊専門相談事業	1 不妊専門相談センター事業	電話週1回他	ドーンセンター	○	○ 11,22,25	○ 8,22,26	13	○	○ 7,25	○ 5,19,23	○ 2,16,27	○ 19	○ 22	○ 26	○ 26	
9 次世代育成事業	自主事業	広報事業	1 夏期インターンシップ・プログラム	2週間程度	ドーンセンター					8/24～9/10								
	自主事業	広報事業	2 研修・実習・職場体験等の受入れ	随時	ドーンセンター	27～30			27,28	10,11			11/25～12/10,21					
10 販売事業	自主事業	広報事業	1 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自主事業	広報事業	2 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11 講師派遣・アウトリーチ	自主事業	広報事業	1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	随時	外部	13		1,10,24	9,10,15, 16,27	5		2,13,21, 28,29		22	27,28	25	2,9	
12 NPO・市民活動支援事業 (共催事業)	こころの相談室WOMAN	共催事業	1 「未知の私」と出会いのWORK:私らしく自信をもって生きるために	10回	ドーンセンター	9,23	14,28	11,25	9,23	13,27								
	「わたしの政経塾」企画委員会	共催事業	2 女性が活きる 経済が活きる「わたしの政経塾」2010	12回	ドーンセンター	17	15	19	17	21	18	16	20	18	15	19	19	
	「竹中恵美子に学ぶ:労働・ 社会政策・ジェンダー」企画 委員会	共催事業	3 セミナー「竹中恵美子に学ぶ:労働・社会政策ジェンダー」	12回	ドーンセンター		21	18	16	20	17	15	19	17	21	18	18	
	世界女性ネットワーク関西	共催事業	4 「世界女性会議・北京から15年 女たちはいま・・・」	1回	ドーンセンター				31									
	映像発信てれれ	共催事業	5 「ここにおるんじゃけえ」上映会	2回	ドーンセンター							1,2						
	働く女性のネットワーク「よこ の会」	共催事業	6 「自分らしさが美しい:自信を引き出す2つのアプローチ」	1回	ドーンセンター								16					
	NPO法人女性と子どものエン パワメント関西	共催事業	7 スター・ペアレンティング講演会&ワークショップ	1回	ドーンセンター									13				

§ 6 平成22年度 決算

1 財源構成

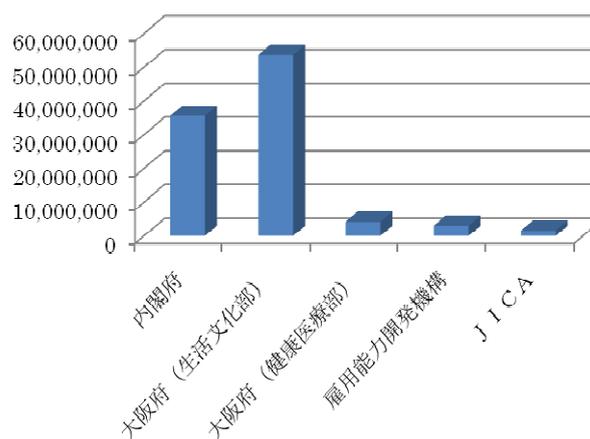
(1) 事業活動収入の内訳

資金形態	平成22年度	
基本財産運用収入	1,250,034	0.9%
会費収入	1,246,000	0.9%
事業収入	7,580,556	5.4%
助成金収入	6,573,000	4.7%
受託金収入	98,186,741	70.1%
負担金収入	18,845,528	13.4%
雑収入	101,750	0.1%
寄付金収入	6,355,938	4.5%
合計	140,139,547	100.0%



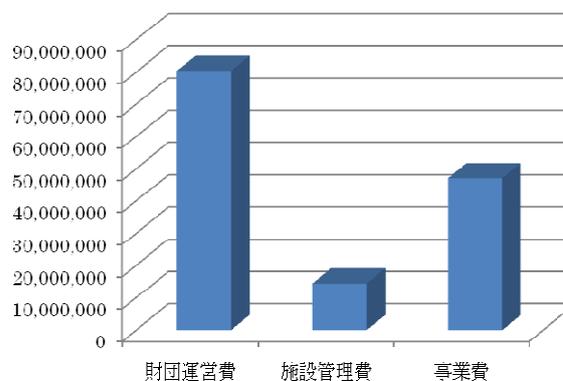
(2) 受託金の内訳

受託元	平成22年度	
内閣府	35,630,692	36.3%
大阪府 (生活文化部)	53,683,781	54.7%
大阪府 (健康医療部)	4,205,000	4.3%
雇用能力開発機構	3,047,100	3.1%
JICA	1,620,168	1.6%
合計	98,186,741	100.0%



2 事業活動支出の内訳

資金形態	平成22年度	
財団運営費	80,411,120	56.6%
施設管理費	14,528,754	10.2%
事業費	47,148,726	33.2%
合計	142,088,600	100.0%



3 収支計算書 2010年4月1日～2011年3月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入	1,250,000	1,250,034	△34	
2 会費収入	1,500,000	1,246,000	254,000	
3 事業収入	7,850,000	7,580,556	269,444	
4 助成金収入	6,400,000	6,573,000	△173,000	
5 受託金収入	96,847,000	98,186,741	△1,339,741	
6 負担金収入	20,050,000	18,845,528	1,204,472	
7 雑収入	200,000	101,750	98,250	
8 寄附金収入	6,300,000	6,355,938	△55,938	
事業活動収入計	140,397,000	140,139,547	257,453	
2 事業活動支出				
1 財団運営費	83,154,000	80,411,120	2,742,880	
2 施設管理費	17,350,000	14,528,754	2,821,246	
3 事業費	56,742,000	47,148,726	9,593,274	
事業活動支出計	157,246,000	142,088,600	15,157,400	
事業活動収支差額	△16,849,000	△1,949,053	△14,899,947	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
1 特定預金取崩収入	21,581,000	15,848,460	5,732,540	
2 投資活動支出				
1 特定預金支出	9,968,000	9,967,247	753	
投資活動収支差額	11,613,000	5,881,213	5,731,787	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△5,236,000	3,932,160	△9,168,160	
前期繰越収支差額	62,145,000	62,144,190	810	
次期繰越収支差額	56,909,000	66,076,350	△9,167,350	

4 貸借対照表 2011年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	19,120,298	未払金	34,547,430
未収金	44,580,858	前受金	720,000
前払金	795,080	預り金	848,341
立替金	7,692,785	リース債務	1,271,340
定期預金	30,000,000	流動負債合計	37,383,011
流動資産合計	102,189,021	2 固定負債	
2 固定資産		退職給付引当金	14,502,440
(1) 基本財産		リース債務	3,496,185
定期預金	55,000	固定負債合計	17,998,625
有価証券	99,945,000	負債合計	55,382,636
(2) 特定資産		正味財産の部	
退職給付引当資金	14,502,440	科目	
施設運営積立預金	2,474,347	金額	
はなみずき基金預金	3,320,000	1 指定正味財産	100,000,000
事業運営積立預金	0	大阪府補助金	100,000,000
(3) その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)
リース資産	4,767,525	2 一般正味財産	71,870,697
固定資産合計	125,064,312	(うち特定資産への充当額)	(20,296,787)
		正味財産合計	171,870,697
資産合計	227,253,333	負債及び正味財産合計	227,253,333

§ 7 メディア掲載一覧

1 新聞掲載

下記の事業に関する記事が掲載された。

(1) はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト

	月日	媒体	見出し
1	2010年 7月16日	毎日新聞朝刊	働く女性の悩みにズバリ 経験積む先輩の助言ネット上で音声配信 子育て中の時間の使い方・起業・転職
2	2010年 7月29日	読売新聞朝刊	働く女性の声 届けます キャリアの軌跡ネット配信

(2) 「ウィメン・パイオニアズ」プロジェクト

	月日	媒体	見出し
1	2010年 11月29日	信濃毎日新聞 他9紙	戦後女性の変化 映像で テレビ番組やDVD 公開始まる 大阪府の財団など 半世紀の姿リアルに

(3) 不妊専門相談センター事業

	月日	媒体	見出し
1	2011年 1月22日	読売新聞朝刊	野田聖子さん50歳出産に「希望」と「困惑」 不妊高度治療500万円超も

(4) 第16回女性芸術劇場

	月日	媒体	見出し
1	2011年 1月28日	毎日新聞夕刊	劇場のピクニック はた りつえ 戦場の「女子会」
2	2011年 2月9日	大阪日日新聞	女性芸術劇場 17-23日に開催 実力は演劇人 異色のコラボ
3	2011年 2月12日	産経新聞夕刊	女性劇作家5人 異色の競演 女性芸術劇場 17-23日、ドーンセンター

参 考 资 料

財団法人大阪府男女共同参画推進財団 設立趣意書

1975年の「国際婦人年」及びこれに続く「国連婦人の10年」を契機として、世界各国では、女性の地位向上や女性に対するあらゆる差別の撤廃に向けての取り組みが積極的に進められてきました。

我が国においても、男女雇用機会均等法の制定をはじめ国内関係法の整備を行い、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准するとともに、新国内行動計画を策定し、女性関係施策を推進しております。

大阪府においても第1期、第2期行動計画に続き、平成3年9月には第3期行動計画「女と男のジャンプ・プラン」を策定し、知事を本部長とする大阪府女性政策企画推進本部のもとに女性問題の解決を図るための施策を積極的に推進しております。

大阪が地球時代にふさわしく、人間と自然の調和を保ち、かつ文化の薫り高い国際都市へ発展していくためには、男女が共に人間として尊重され、性差にとられることなく、豊かな人間関係のなかで、人生のあらゆる段階で支えあうことのできる社会、即ち、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加・参画に基づく男女協働社会を実現することが不可欠であります。

しかしながら、男女の固定的な役割分担意識はまだ根強く、男女の自立及びあらゆる分野への対等な参加・参画を不十分なものとしています。また、近年における高齢化、情報化、国際化等の急激な進展により、女性問題に係る新たな課題が生じてきております。

男女協働による真に豊かな社会を実現するためには、行政の力だけで達成できるものではなく、民間においても女性問題の解決に向けて社会的な気運の醸成を図るとともに、企業、民間団体さらには府民一人ひとりが知恵と創意を發揮して積極的な活動を展開することが重要です。

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は、そうした行政並びに府民、民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するため、情報の収集及び提供に関する事業、能力開発に関する事業、女性の抱える問題に関する相談事業、女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業、調査研究及び啓発学習に関する事業、女性の健康に関する事業及びドーンセンターの管理運営を行うこと等により、男女協働社会の実現に寄与することを目的として設立するものであります。

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、財団法人大阪府男女共同参画推進財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を大阪市中央区大手前1丁目3番49号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業
- (2) 女性の能力開発に関する事業
- (3) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (4) 女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業
- (5) 男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するための調査研究及び啓発学習に関する事業
- (6) 女性の健康に関する事業
- (7) 前各号に掲げる事業及び施設の管理運営の受託に関する事業
- (8) 前7号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

第2章 資産、会計及び事業計画

(資産の構成)

第5条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 寄附金品
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他の収入

(資産の種別)

第6条 資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

- 2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。
 - (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
 - (2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
 - (3) 理事会において運用財産から基本財産に繰り入れることを議決した財産
- 3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(資産の管理)

第7条 資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

- 2 基本財産のうち現金は、郵便官署若しくは確実な金融機関に預け入れ、信託会社に信託し、又は国債、公債その他確実な有価証券に換えて保管しなければならない。

(基本財産の処分の制限)

第8条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において、理事数の4分の3以上の同意を得、かつ、大阪府知事の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

(退職積立金の処分の制限)

第9条 大阪府補助金による退職積立金については、別に定める職員の退職金に充当する以外、これを処分し、又は担保に供することができない。

なお、上記職員の退職金に充当するための取崩しについては理事会の議決を得るものとする。

(経費の支弁)

第10条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

(事業計画及び予算)

第11条 この法人の事業計画及び予算は、理事長が作成し、毎会計年度開始前に理事会の議決を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(暫定予算)

第12条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第13条 理事長は、毎会計年度終了後3カ月以内に、事業状況報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録等を作成し、監事の監査を経て、理事会の承認を得なければならない。

(長期借入金)

第14条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事数の3分の2以上の同意を得、かつ、大阪府知事の承認を得なければならない。

(会計年度)

第15条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第3章 役員

(種別)

第16条 この法人に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 理事 5名以上15名以下
うち理事長1名。なお、必要のあるときは専務理事を置くことができる。
- (2) 監事 2名

(選任)

第17条 理事及び監事は、理事会において選任する。

- 2 理事長は、理事の互選により定める。
- 3 専務理事は、理事会の同意を得て理事長が指名する。
- 4 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。
- 5 理事のいずれか1名とその親族その他の特別の関係にある者の合計数は、理事数の3分の1を超えてはならない。
- 6 監事は、相互に親族その他の特別の関係にある者であってはならない。

(職務)

第18条 理事長は、この法人を代表し、業務を統括する。

- 2 専務理事は、理事長を補佐し、日常の業務を処理し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、業務を議決し、執行する。
- 4 監事は、次の職務を行う。
 - (1) 法人の財産の状況を監査すること。
 - (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
 - (3) 財産の状況又は業務の執行について不正の事実を発見したときは、これを理事会及び大阪府知事に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会を招集すること。

(任期)

第19条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

- 3 役員は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(解任)

第 20 条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会において、理事数の 4 分の 3 以上の議決により、これを解任することができる。ただし、理事会において、その役員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったと認められるとき。

(報酬等)

第 21 条 役員は、無給とする。ただし、常勤及び理事会が定める非常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 役員には費用を弁償することができる。
- 3 前 2 項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が定める。

第 4 章 理事会

(構成)

第 22 条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第 23 条 理事会は、この寄附行為で別に定めるもののほか、この法人の運営に関する重要な事項を議決する。

(種類及び開催)

第 24 条 理事会は、通常理事会と臨時理事会の 2 種とする。

- 2 通常理事会は、毎年 2 回開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
 - (1) 理事長が必要と認めたとき。
 - (2) 理事数の 3 分の 1 以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
 - (3) 監事が第 17 条第 4 項第 4 号の規定により、召集したとき。

(招集)

第 25 条 理事会は、理事長が招集する。ただし、前条第 3 項第 3 号の規定による場合は、監事が招集する。

- 2 理事長は、前条第 3 項第 2 号の規定による請求があったときは、その日から 14 日以内に臨時理事会を招集しなければならない。

- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

(議長)

第26条 理事会の議長は、理事長が当たる。

(定足数)

第27条 理事会は、理事数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 理事会の議事は、この寄附行為で別に定めるもののほか、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第29条 やむを得ない理由のため、理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。

- 2 前項の場合における前2条の規定の適用については、その理事は出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 理事数
 - (3) 出席した理事の数及び氏名（書面表決者及び表決委任者については、その旨を付記すること。）
 - (4) 審議事項及び議決事項
 - (5) 議事の経過の概要及びその結果
 - (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、その会議において出席した理事の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長と共に署名押印しなければならない。

第5章 委員等

(設置)

第31条 本財団に、第4条に定める事業の円滑な促進を図るため、必要に応じ、委員を置き、又は委員会を設置することができる。

- 2 委員の選任、委員会の設置、運営その他必要な事項は、理事会の同意を得て、理事長が別に定める。

第6章 事務局

(設置)

第32条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。
- 3 事務局の職員は、理事長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(書類及び帳簿の備付け)

第33条 事務所には、次に掲げる帳簿及び書類を常に備えておかなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 理事、監事及び職員の名簿及び履歴書
- (3) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (4) 寄附行為に定める機関の議事に関する書類
- (5) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類
- (6) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (7) その他必要な帳簿及び書類

第7章 寄附行為の変更及び解散

(寄附行為の変更)

第34条 この寄附行為は、理事会において理事数の4分の3以上の同意を得、かつ、大阪府知事の認可を得なければ変更することができない。

(解散)

第35条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定によるほか、理事会において、理事数の4分の3以上の同意を得、大阪府知事の承認のあったとき解散する。

(残余財産の処分)

第36条 解散後の残余財産は、理事会の議決を経て、大阪府知事の許可を得、この法人と類似の目的を有する公益法人又は大阪府に寄附するものとする。

第8章 雑則

(委任)

第37条 この寄附行為の施行について必要な事項は、寄附行為に定めるほか、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この寄附行為は、この法人の設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、第 16 条第 1 項から第 3 項までの規定にかかわらず、設立者の定めるところとし、その任期は、第 18 条第 1 項の規定にかかわらず、平成 8 年 3 月 31 日までとする。
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第 10 条の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の会計年度は、第 14 条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成 7 年 3 月 31 日までとする。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 6 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 22 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 22 年 3 月 11 日から施行する。

財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ

- 平成6年度
- 4. 1 財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立
(理事長：谷川秀善 事務所：大阪府立婦人会館内)
 - 5. 11 第1回理事会開催
 - 6. 18 財団設立記念イベント(ウィメンズフォーラム)の開催
 - 6. 20 第2回理事会開催(理事長に吉沢健就任)
 - 7. 29 ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)竣工
 - 8. 8 大阪府から財団へ施設引き継ぎ
 - 8. 29 財団事務所移転(ドーンセンター内)
 - 10. 27 第1回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 11. 7 開館記念式典
 - 11. 11 オープニングイベント開催(～11.13)
 - 11. 26 大阪国際女性フォーラム開催(～11.27)
 - 2. 27 第2回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 3. 17 第3回理事会開催
- 平成7年度
- 6. 29 第4回理事会開催
 - 7. 17 第3回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 11. 10 ドーンフェスティバル(1周年事業)の開催(～11.12)
 - 11. 30 第4回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 2. 29 第5回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 3. 28 第5回理事会開催
- 平成8年度
- 6. 21 第6回理事会開催
 - 7. 15 第6回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 11. 8 ドーンフェスティバルの開催(～11.10)
 - 12. 16 第7回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 12. 19 ドーンセンター来館者100万人突破
 - 2. 24 第8回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 3. 28 第7回理事会開催
- 平成9年度
- 6. 24 第8回理事会開催
 - 7. 16 第9回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 7. 31 第9回理事会開催
 - 10. 21 第10回理事会開催(理事長に松廣屋慎二就任)
 - 10. 27 ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
 - 10. 28 ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
 - 11. 7 ドーンフェスティバルの開催(～11.8)
 - 12. 26 第11回理事会開催
 - 2. 23 第10回ドーンセンター運営推進委員会開催
 - 3. 28 第12回理事会開催
- 平成10年度
- 4. 16 第13回理事会開催

	6.26	第14回理事会開催
	7.24	第11回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.6	ドーンフェスティバルの開催（～11.7）
	12.8	第12回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2.26	第13回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.18	第15回理事会開催
平成11年度	5.1	第16回理事会開催
	6.21	第17回理事会開催
	7.16	第14回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8.31	第18回理事会開催（理事長に木村良樹就任）
	10.4	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10.7	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11.11	ドーンフェスティバル（女性センターフォーラム）の開催（～11.11）
	2.24	第15回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.31	第19回理事会開催
平成12年度	4.23	平成12年「女性週間全国会議」開催（～4.24）
	5.2	第20回理事会開催
	6.26	第21回理事会開催
	7.3	第16回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8.31	第22回理事会開催（理事長に梶本徳彦就任）
	9.26	第23回理事会開催
	11.9	ドーンフェスティバル（男女共同参画フォーラム）の開催（～11.10）
	11.21	第17回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.1	第24回理事会開催
	2.17	ドーンフェスティバル（21世紀へ夢描くグループフェスタ2001）の開催
	2.26	第18回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.29	第25回理事会開催
平成13年度	5.7	第26回理事会開催
	5.24	第19回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6.29	第27回理事会開催
	8.17	第20回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.30	第21回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.8	第22回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.9	ドーンフェスティバル2002の開催
	3.28	第28回理事会開催
平成14年度	4.24	第29回理事会開催（理事長に山登敏男就任）
	6.25	第30回理事会開催（財団名称の変更の承認）
	7.30	第23回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.27	第24回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2.21	第25回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.26	第31回理事会開催

	3.29	ドーンフェスティバル2003の開催
平成15年度	4.1	財団名称を財団法人大阪府男女共同参画推進財団に変更
	4.23	第32回理事会開催
	6.6	ドーンセンター来館者400万人突破
	6.26	第33回理事会開催
	7.25	第26回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第27回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.5	第28回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.26	第34回理事会開催（財団「新・10年プラン」策定）
平成16年度	4.1	理事長に時岡禎一郎就任
	4.1	NPOとの協働専門委員会設置
	4.20	第35回理事会開催
	6.23	第29回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6.29	第36回理事会開催
	11.12	女性エンパワメントフォーラム2004（ドーンセンター10周年記念事業） の開催（～11.13）
	12.3	第30回ドーンセンター運営推進委員会開催
	1.1	ドーンセンター運営推進委員会利用者団体登録審査部会設置
	3.4	第31回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第37回理事会開催
平成17年度	4.22	第38回理事会開催
	6.28	第39回理事会開催
	7.1	第32回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.11	第40回理事会開催
	12.9	第33回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.10	第34回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第41回理事会開催
	3.28	「ドーン利用促進事業共同体」が大阪府から指定管理者に指定
平成18年度	4.1	「ドーン利用促進事業共同体」が指定管理業務開始
	6.23	第42回理事会開催
	6.30	第35回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.15	第36回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第43回理事会開催（「事業・NPO協働評価委員会」の設置）
	3.13	第37回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.20	第44回理事会開催（財団「中期経営計画」策定）
平成19年度	4.1	ドーンセンター事業・NPO協働評価委員会の設置
	6.27	第45回理事会開催
	7.6	第38回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.21	第39回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.18	第40回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.28	第46回理事会開催

平成20年度	4.18	第47回理事会開催
	6.24	第48回理事会開催
	7.25	第49回理事会開催
	8.1	第41回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第42回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第50回理事会開催（「第一次自立化プラン」策定）
	3.25	第43回ドーンセンター運営推進委員会開催
	平成21年度	4.24
6.19		第52回理事会開催
7.3		第44回ドーンセンター運営推進委員会開催
12.3		第53回理事会開催
2.19		第54回理事会開催
3.11		第55回理事会開催
3.19		第45回ドーンセンター運営推進委員会開催
3.30		第56回理事会開催（「第二次自立化プラン」策定）
平成22年度	4.1	財団「自立化」スタート
	6.18	第57回理事会開催
	9.17	第58回理事会開催
	1.9	配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業（パープルダイヤルー性暴力・DV 電話相談一）事業落札（2/8～3/27）
	1.11	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者に指定
	1.14	第59回理事会開催
	2.16	第60回理事会開催（一般財団法人への移行方針承認）
	3.16	「ドーン運営共同体」が大阪府からドーンセンター指定管理者に指定
3.23	第61回理事会開催（「第二次自立化プラン（改定版）」策定）	

財団法人大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-3-49
ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

事務局

総務担当 TEL 06-6910-8625 FAX 06-6910-8624

事業担当 TEL 06-6910-8615

情報担当 TEL 06-6910-8616

相談担当 TEL 06-6910-8588

URL <http://www.ogef.jp/> 発行：平成23年6月